SHARP®

SHARPペンソフト
SHARP Pen Software

バージョン 2.0

Version 2.0

取扱説明書
OPERATION MANUAL
MODE D’EMPLOI
MANUAL DE INSTRUCCIONES

もくじ

はじめに

本ソフトウェアは、会議やプレゼンテーションなどを効果的に行うためのソフトウェアです。

- 直接文字などを書き込み、画面をホワイトボードのように使用することができます。
- 任意のドキュメントを画像に変換して取り込み、表示することができます。
- 複合機から画像を取り込んで表示することができます。
- 編集中の内容を印刷、保存することができます。

本ソフトウェアは、PN-L601B 用です。

お願い

- 本ソフトウェアは厳重な品質管理と製品検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店までご連絡ください。
- お客様もしくは第三者が本ソフトウェアの使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本取扱説明書および本ソフトウェアの内容の全部および一部を、当社に無断で転記、あるいは複製することはお断りします。
- 本取扱説明書および本ソフトウェアは、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本ソフトウェアは ImageKit7 の技術を使用しています。ImageKit7 Copyright © 2005 Newtone Corp.
- 画面の設定や OS のバージョンなどによって内容が異なる場合があります。
- Windows の基本的な操作は説明していません。
- デフォルトのフォルダーにインストールした場合のパスを例に記載しています。インストール時に指定したフォルダーによってパスが異なる場合があります。

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- その他、製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

起動から終了の流れ

ペンソフトのモードと起動のしかた

ご参考

- セカンダリーディスプレイには対応していません。
- ホワイトボードモードと透明ボードモードを同時に起動することはできません。
  モードを変えるときは、起動しているモードを終了してから、もう一方のモードを起動してください。
- Windows のタスクバーが移動してしまうことを防ぐため、タスクバーは固定してください。

■ ホワイトボードモード

画面をホワイトボードのように使うことができます。
作業領域は「シート」単位で表示されます。シートを変えると、別の画面で編集することができます。



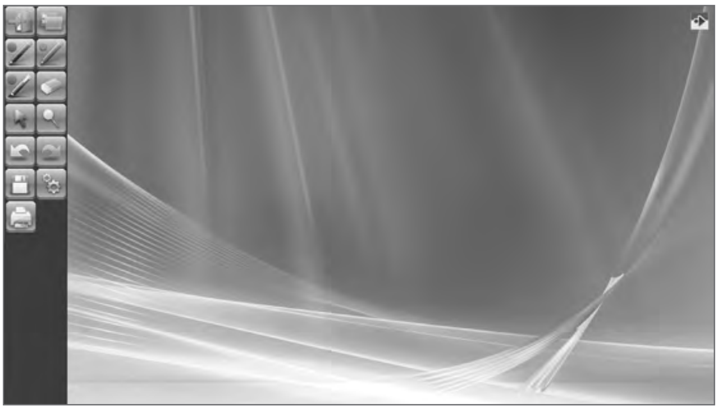
ホワイトボードモードを起動する

次の方法で起動してください。

- デスクトップ上のショートカットアイコン「SHARP ペンソフト」（　）をすばやく 2 度タッチ（ダブルクリック）する。
- 「スタート」ボタンをクリックし、「すべてのプログラム」→「SHARP ペンソフト」→「SHARP ペンソフト」を選ぶ。
- ホワイトボードファイル（SWS 形式の保存ファイル）をすばやく 2 度タッチ（ダブルクリック）する。

■ 透明ボードモード

ボードが透明のモードです。
作業領域は、単独の画面で構成されています。
画面の上に置かれた透明ボードの上に描画されるので、画面上に表示されているものに直接注釈などを書き入れることができます。ただし、透明ボードの背後に見えている画面を直接操作することはできません。



透明ボードモードを起動する

次の方法で起動してください。

- デスクトップ上のショートカットアイコン「SHARP ペンソフト（透明ボード）」（　）をすばやく 2 度タッチ（ダブルクリック）する。
- 「スタート」ボタンをクリックし、「すべてのプログラム」→「SHARP ペンソフト」→「SHARP ペンソフト（透明ボード）」を選ぶ。

終了する

「終了」をタッチしてください。

未保存の編集内容がない場合

本ソフトウェアが終了します。

未保存の編集内容がある場合

確認のダイアログボックスが表示されます。

「保存して終了する」をタッチした場合は、保存先を指定するダイアログボックスが表示されます。保存形式を確認し、保存先を指定して保存してください。(7 ページ)

「保存せずに終了する」をタッチした場合は、保存せずに終了します。



基本画面の構成

画面例：ホワイトボードモード



①ツールバー
機能を切り換えます。（6ページ）

②シート一覧
ホワイトボードモードのときに表示されます。
タッチすると、シートの一覧がサムネイルで表示されます。（8 ページ）

③ツールバー移動アイコン
ツールバーと反対側の端に表示され、タッチすると、ツールバーが反対側に移動します。（ツールバー移動アイコンとツールバーの位置が入れ替わります。）

④ボード
作業領域です。文字や線を描いたり、画像を貼り付けたりすることができます。
ボードにはホワイトボードと透明ボードの 2 種類があります。透明ボードの場合は、背景が透けて表示されます。

ご参考

- ホワイトボードモードの背景色やグリッドは、変更することができます。（20 ページ）

⑤シート送りボタン／ページ番号
ホワイトボードモードのときに表示されます。
シート送りボタンをタッチすると、表示シートを変えることができます。（8 ページ）
中央に表示されているのが、現在のシート（ページ）の番号です。

ツールバーの機能ボタンとはたらき

ツールバーには各機能がボタンで表示されています。各ボタンをタッチすると、その機能が選べます。
ツールバーに表示される機能ボタンは、モードによって異なります。

ホワイトボードモード



終了 / 開く
ペン 1 / ペン 2
ペン 3 / 消しゴム
選択 / スクリーン
元に戻す / やり直し
保存 / SHARP ペンソフトの設定
現在のシートを印刷 / すべてのシートを印刷
データ取り込み
パンウィンドウ

透明ボードモード



終了 / 透明ボード OFF
ペン 1 / ペン 2
ペン 3 / 消しゴム
選択 / 虫めがね
元に戻す / やり直し
保存 / SHARP ペンソフトの設定
現在のシートを印刷

ボタン	機能	ページ
終了	本ソフトウェアを終了します。	4
開く※1	ホワイトボードファイルを開きます。	7
透明ボード OFF※2	透明ボード機能を無効にします。 一時的にボードの機能を無効にすることで、本ソフトウェア以外の操作（ファイルの操作や、他アプリケーションソフトの使用など）を行えます。	—
ペン 1 〜 3	線を描きます。	10
消しゴム	手描きの線を消します。	11
選択	オブジェクトを選びます。	12
スクリーン※1	ホワイトボードの拡大や、表示位置やページの移動を行います。	8、15
虫めがね※2	透明ボードモードで画面の一部を拡大表示します。	16
元に戻す	ひとつ前の操作を取り消します。	14
やり直し	ひとつ前に取り消した操作をやり直します。	14
保存	編集中の内容を保存します。	7
SHARP ペンソフトの設定	本ソフトウェアを使いやすいように設定します。	20
現在のシートを印刷	表示しているシートを印刷します。	19
すべてのシートを印刷※1	すべてのシートを印刷します。	19
データ取り込み※1	ペンソフト取り込み用プリンタードライバーや複合機から取り込んだ画像ファイルをボード上に貼り付けます。	17、18
パンウィンドウ※1	表示しているシートのサムネイル画像が表示され、ウィンドウ内を操作することでボードの拡大や表示位置の移動を行います。	15

※1 ホワイトボードモードのみ表示されます。
※2 透明ボードモードのみ表示されます。

ファイルの保存と読み込み

データを保存する

以下のファイル形式でデータを保存することができます。

ファイル形式	説明
ホワイトボードファイル	ホワイトボードのデータを SWS 形式で保存します。本ソフトウェアで再編集することができます。
PDF、BMP、JPEG、PNG	作業中の画面をスクリーンショットで保存します。異なるファイル形式に変換されるため、本ソフトウェアで再編集することはできません。

ホワイトボードモードの場合

すべてのファイル形式で保存できます。
すべてのシートが保存されます。（データがないシートは保存されません。）
BMP、JPEG、PNG では、1 シートが 1 ファイルになります。

透明ボードモードの場合

PDF、BMP、JPEG、PNG で保存できます。

1. 「保存」をタッチする。
2. ドロップダウンリストで、ファイル形式を選ぶ。
3. 保存先を指定し、「保存」をタッチする。

■ 自動バックアップについて

ホワイトボードファイルを定期的に自動保存する機能です。
（透明ボードは自動バックアップされません。）
自動バックアップの ON ／ OFF およびバックアップを行う間隔は、変更することができます。（20 ページ）

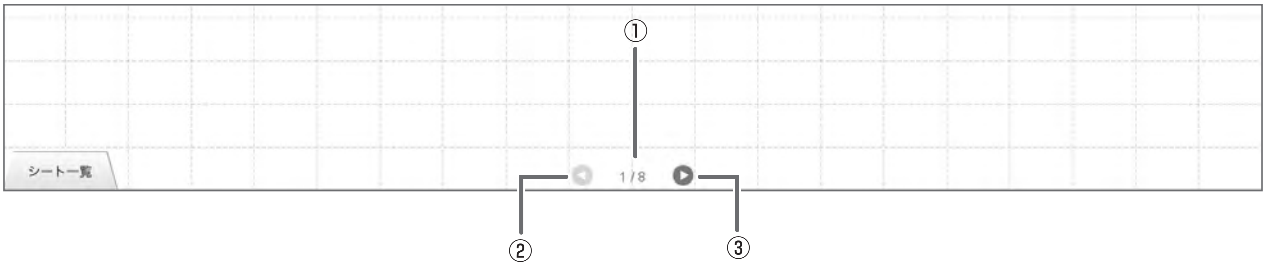
ホワイトボードファイルを読み込む

ホワイトボードモードを起動すると、新規のホワイトボードファイルが開かれた状態になります。（直接ファイルをタッチして本ソフトウェアを起動させた場合は、該当するホワイトボードファイルが開かれた状態になります。）
保存したホワイトボードファイルを読み込みたいときは、「開く」をタッチして、読み込みたいファイルを選んでください。
（未保存の編集内容がある場合は、ファイル保存に関する確認のダイアログボックスが表示されます。）

編集する

編集するシートを変える（ホワイトボードモード）

ホワイトボードモードでは、画面がシート単位で表示されます。
シートを変えるときは、画面下にあるシート送りボタンをタッチしてください。中央に表示されているのが、現在のシートです。



①現在のシート

②シート送りボタン（前）
前のシートを表示します。最初のシートを表示しているときはタッチできません。

③シート送りボタン（次）
次のシートを表示します。最後のシートを表示しているときはタッチできません。

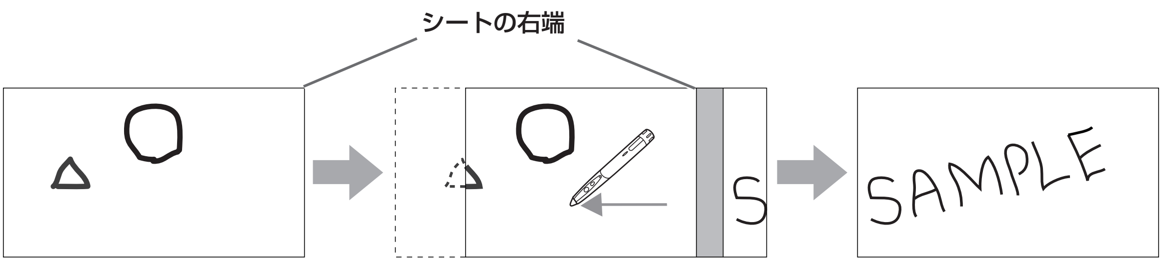
■ 画面をドラッグしてシートを変える

シートの拡大率が 100% のとき、ドラッグ操作でシートを変えることができます。

1. 「スクリーン」をタッチする。

2. タッチペンでタッチしたまま水平に動かす（ドラッグする）。

- 右方向にドラッグすると、前のシートを表示します。
- 左方向にドラッグすると、次のシートを表示します。



■ サムネイルを見ながらシートを変える／シートを編集する

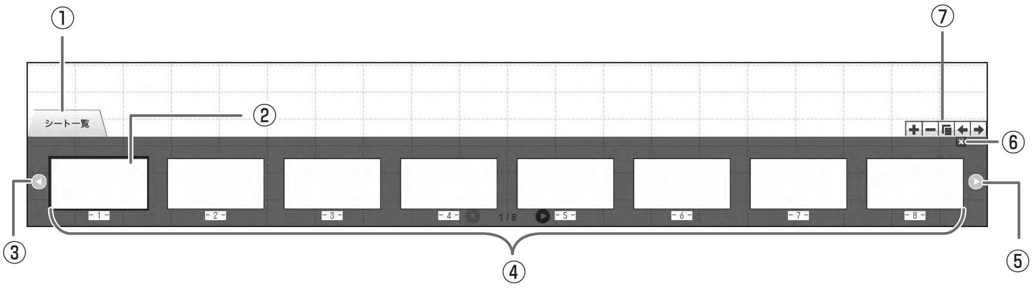
画面左下の「シート一覧」には、各シートのサムネイルが表示され、サムネイルをタッチしてシートを変えることができます。また、シートの追加、削除、コピー、移動など、シートの編集が行えます。

1. 画面左下の「シート一覧」をタッチする。

シートのサムネイルが一覧で表示されます。

2. 表示したいシートのサムネイルをタッチする。

画面がタッチしたシートに変わります。



①シート一覧

②選んでいるシート

③サムネイル送りボタン（前）

④サムネイル

⑤サムネイル送りボタン（次）

⑥シート一覧を閉じます。

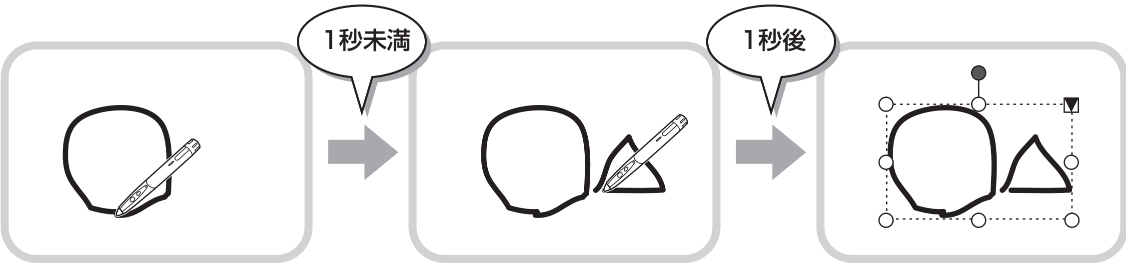
⑦ ＋：選んでいるシートの右側に新しいシートを追加する。
－：選んでいるシートを削除する。
コピー：選んでいるシートを右側にコピーする。
←：選んでいるシートを左側に移動する。
→：選んでいるシートを右側に移動する。

ペンで描く

1.  **「ペン 1」～「ペン 3」のいずれかをタッチする。**

2. ボード上で描く。

描いた内容は、タッチペンを放してから 1 秒※後に、1 つのオブジェクトとして確定されます。タッチペンを放してから 1 秒※経過しないうちに別の図形を描くと、線と線がつながっていなくても 1 つのオブジェクトになります。
※ 数値は変更することができます。(20 ページ)



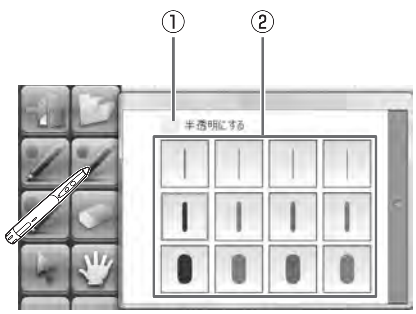
図形を描く　　別の図形を描く　　両方の図形が 1 つのオブジェクトになる

ご参考

- タッチペンの機能ボタン 2 を押すたびに、「ペン 1」～「ペン 3」、「消しゴム」機能を順に変えることができます。
  機能ボタン 2 で機能を変える場合は、タッチパネルドライバーの「プロパティ」を選び、「動作設定」タブの「機能ボタン 2」を「ペンソフト連携」に設定してください。
- オブジェクトについては、12 ページを参照してください。
- ツールバーのいずれかのボタンがタッチされた場合など、タッチペンを放してから一定の時間が経過しなくても、描いた内容がオブジェクトとして確定されます。

■ ペンの色と太さを変える

「ペン 1」～「ペン 3」のパレットで、ペン機能の設定を変更することができます。
パレットは、選択しているペンのボタンを再度タッチすると表示されます。



①チェックすると、線が半透明になります。
　この設定が有効なときは、ペンのアイコンが変わります。

通常　半透明



②線の色と太さを設定します。
　パレットが閉じます。

ご参考

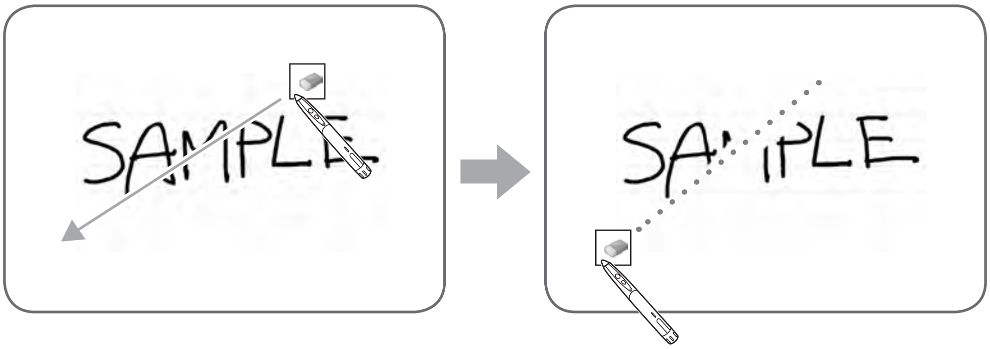
- パレットの閉じかたは変更することができます。(20 ページ)

描いた線を消す

1. 「消しゴム」をタッチする。

2. タッチペンをタッチしたまま動かす。

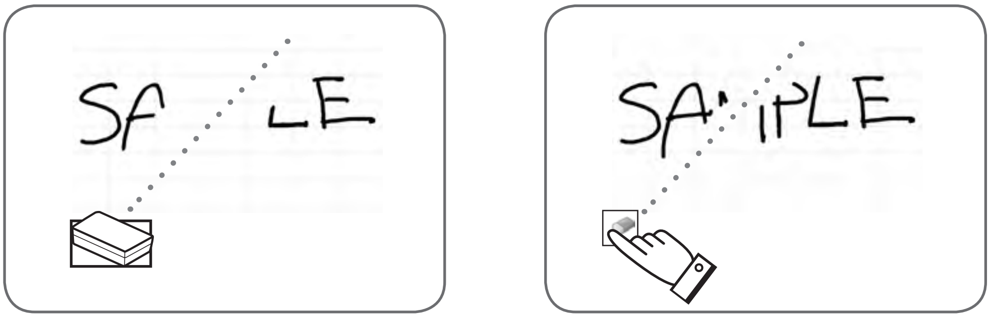
動かした部分が消えます。



ご参考

- タッチペンの機能ボタン 2 を押すたびに、「ペン 1」～「ペン 3」、「消しゴム」機能を順に変えることができます。
  機能ボタン 2 で機能を変える場合は、タッチパネルドライバーの「プロパティ」を選び、「動作設定」タブの「機能ボタン 2」を「ペンソフト連携」に設定してください。
- 消しゴム機能で消せるのは、ペン機能で描いたオブジェクトだけです。貼り付けた画像などは、「消しゴム」で消すことはできません。また、線の一部を消して太さを細くすることはできません。消して細くした部分の線がすべて消えます。
- ペン機能で描いたオブジェクトでも、グループ化されたオブジェクトを消すことはできません。
- 「ペン／消しゴム機能の自動切換」を設定すると（20 ページ）、「ペン 1」～「ペン 3」、「消しゴム」選択時にイレーザーや指で消すことができます。イレーザーまたは指で画面に触れ、カーソルが消しゴムに変わってから動かしてください。
  イレーザーや指で消す場合の消しゴムサイズは、画面に触れている範囲、または、パレットで選択している大きさのどちらかに設定できます。

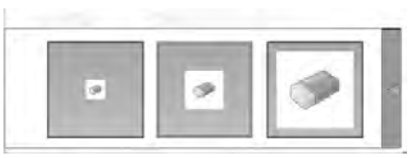
「タッチパネルの接触面積に合わせて消す」を選んだ場合　　**「パレットで選択されているサイズで消す」を選んだ場合**



- Windows Vista/7 のとき、透明ボードモードで「消しゴム」を選ぶと、下記のように表示されます。「消しゴム」以外の機能を選ぶと通常の表示に戻ります。
  - 半透明のオブジェクトでも、背景のコンピューター画面が透けません。
  - オブジェクトの周りに白線が表示されます。

■ 消しゴムのサイズを変える

「消しゴム」のパレットで、消しゴムの大きさを変更することができます。
パレットは、「消しゴム」を選択している状態で再度タッチすると表示されます。



ご参考

- パレットの閉じかたは変更することができます。（20 ページ）

オブジェクトを編集する

描いた線やボードに貼り付けた画像などは、「オブジェクト」という単位で扱われます。

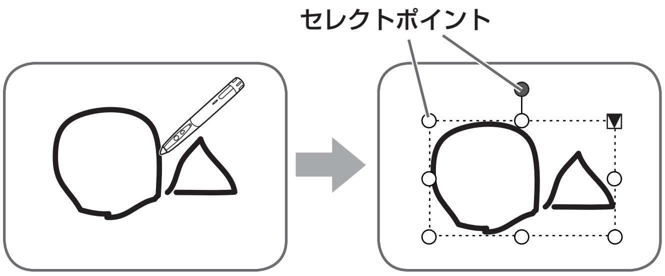
■ オブジェクトを選ぶ

オブジェクトを編集するときは、対象となるオブジェクトを選びます。

1. 「選択」をタッチする。

2. オブジェクトをタッチする。

オブジェクトが選ばれます。



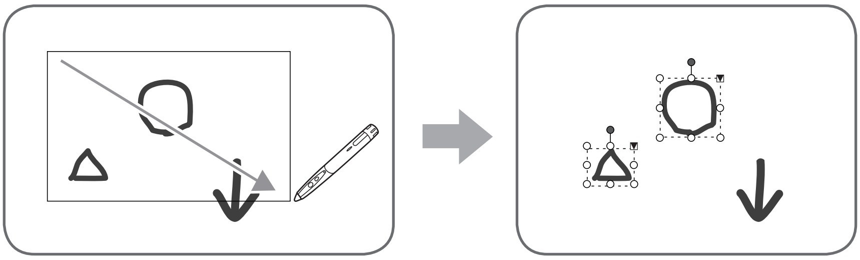
オブジェクトをタッチ
描画領域をタッチしてください。何も描いていない箇所をタッチしても選べません。

選ばれた状態
オブジェクトの範囲が点線で表示され、頂点と辺にセレクトポイントと呼ばれる記号が表示されます。

オブジェクトを選んだ状態で、▼をタッチすると、拡張メニューが表示され、以下の編集を行うことができます。

- 切り取り
- コピー
- 貼り付け
- 削除
- 回転
- 順序
- 選択解除
- グループ化
- グループ解除
- プロパティ

ドラッグで範囲を指定すると、その範囲に含まれている複数のオブジェクトを選ぶことができます。（範囲内にオブジェクト全体が含まれていないものは選べません。）



■ オブジェクトをグループ化する

選ばれている複数のオブジェクトを一つのオブジェクトとして編集することができます。

1. 複数のオブジェクトを選ぶ。

2. 拡張メニューから「グループ化」を選ぶ。

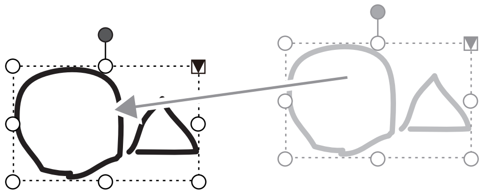
グループ化を解除するときは

1. グループ化されているオブジェクトを選ぶ。

2. 拡張メニューから「グループ解除」を選ぶ。

■ オブジェクトを移動する

選んだオブジェクトをドラッグすると、オブジェクトを移動することができます。

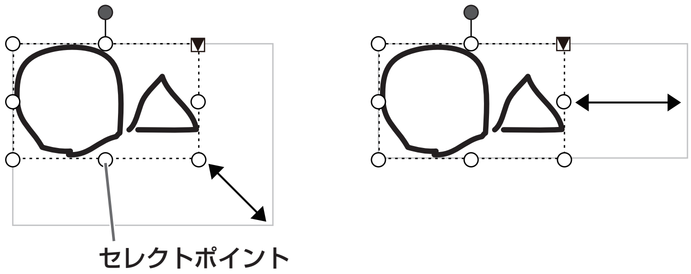


■ オブジェクトを拡大／縮小する

1. オブジェクトを選ぶ。

2. セレクトポイントをドラッグする。

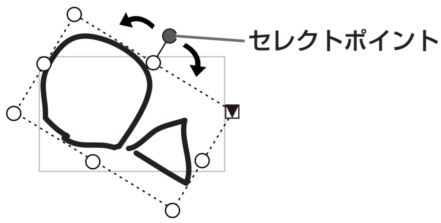
- 頂点のセレクトポイントをドラッグすると、比率を固定したまま拡大／縮小します。
- 辺のセレクトポイントをドラッグすると、幅または高さのみを拡大／縮小します。
- 拡大／縮小しても線の太さは維持されます。



■ オブジェクトを回転させる

1. オブジェクトを選ぶ。

2. 中央上部のセレクトポイントをドラッグする。
または、拡張メニューの「回転」から、「右 90 度回転」「左 90 度回転」「180 度回転」を選ぶ。



■ オブジェクトをコピーする

オブジェクトをクリップボードにコピーすることができます。

1. オブジェクトを選ぶ。

2. 拡張メニューの「コピー」を選ぶ。

■ オブジェクトを切り取る

オブジェクトを切り取ってクリップボードに保存することができます。

1. オブジェクトを選ぶ。

2. 拡張メニューの「切り取り」を選ぶ。

■ オブジェクトを貼り付ける

クリップボードのオブジェクトをボードに貼り付けるときは、拡張メニューの「貼り付け」を選びます。

■ オブジェクトの順序を変更する

オブジェクトが配置されている順序を変更することができます。

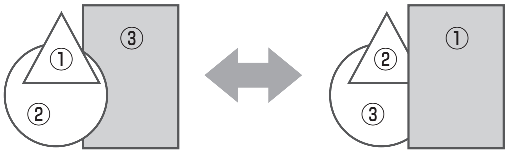
1. オブジェクトを選ぶ。

2. 拡張メニューの「順序」から移動先を選ぶ。

- 最前面へ移動　：オブジェクトが 1 番手前へ移動します。
- 最背面へ移動　：オブジェクトが 1 番奥へ移動します。
- 前面へ移動　　：オブジェクトが 1 つ手前へ移動します。
- 背面へ移動　　：オブジェクトが 1 つ奥へ移動します。

オブジェクトの順序とは

奥にあるオブジェクトは、手前のオブジェクトに重なると、隠れます。隠れている部分を表示させたい場合は、オブジェクトの順序を変更します。



① 1 番手前に配置されているオブジェクト
② 2 番目に配置されているオブジェクト
③ 1 番奥に配置されているオブジェクト

操作を取り消す・やり直す

「元に戻す」をタッチすると、直前の描画や編集を取り消すことができます。

「やり直し」をタッチすると、取り消した操作を再び実行することができます。

ご参考

- 最大 50 回まで取り消すことができます。

オブジェクトを削除する

1. オブジェクトを選ぶ。

2. 拡張メニューの「削除」を選ぶ。

選ばれたオブジェクトが消えます。

画面を拡大する

画面の拡大方法は、起動しているモードによって異なります。

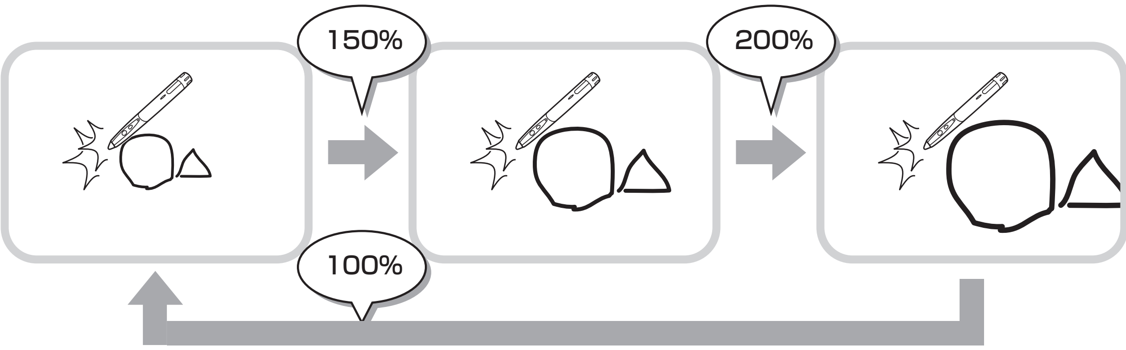
■ ホワイトボードモードで画面を拡大する

ダブルクリックで画面を拡大する

1. 「スクリーン」をタッチする。

2. ボードの拡大したい場所をすばやく 2 度タッチ（ダブルクリック）する。

ダブルクリックするたびに、クリック位置を基準に 100%、150%、200% の順に切り換わります。
200% で表示しているときにダブルクリックすると 100% に戻ります。

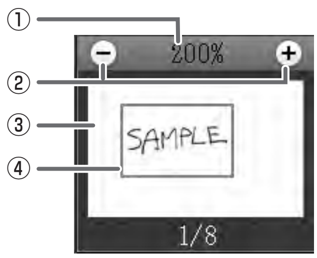


拡大時の表示位置を変更する

「スクリーン」を選択した状態で画面をドラッグすると、表示位置を変更できます。

パンウィンドウで画面を拡大する

ツールバーのパンウィンドウには、現在のシートのサムネイルが表示されます。



①倍率

現在の画面倍率を表示します。

② [-] [+]

タッチするたびに、100% ～ 400% の間で 50% ずつ画面を拡大／縮小します。

③パンウィンドウ

現在のシートのサムネイルが表示されます。ダブルクリックするたびに、クリック位置を基準に 100%、150%、200% の順に切り換わります。

④表示枠

画面に表示されている領域を示します。表示枠をドラッグすると表示場所が移動します。

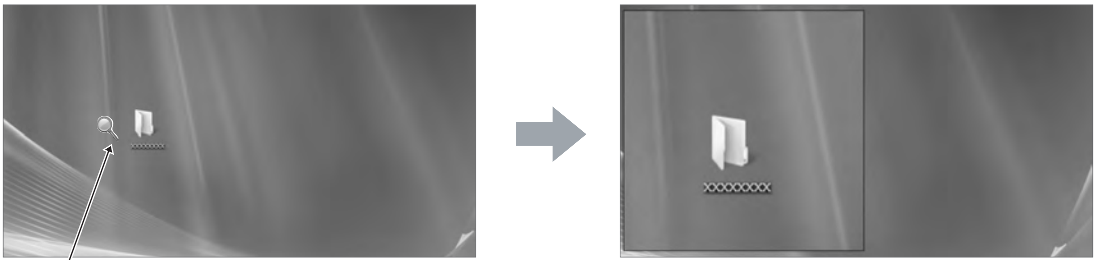
■ 透明ボードモードで画面を拡大する

画面の一部を拡大して表示することができます。

1. 「虫めがね」をタッチする。

2. ボードをタッチする。

タッチした周辺が拡大表示されます。



拡大したい箇所をタッチ

周辺が拡大されます

ドキュメントを画像で取り込む（ペンソフト取り込み用プリンタードライバー）

任意のアプリケーションソフトのドキュメントを画像に変換し、ホワイトボードに取り込むことができます。
プリンターに印刷されるのと同様の内容で取り込むことができます。

■ アプリケーションソフトでの操作

1. 取り込みたいドキュメントをアプリケーションソフトで開く。

2. 印刷の操作を行い、印刷設定を行う画面を表示する。

操作方法はアプリケーションソフトの説明書をご覧ください。

3.「出力先（プリンター）」を「ペンソフトへ送信」に変更し、印刷設定を行う。

- 「用紙サイズ」、「用紙の向き」、「解像度」が選べます。
- 設定が終わったら「OK」をタッチしてください。

4. 印刷を実行する。

印刷したドキュメントが画像に変換され、ペンソフトに転送されます。

■ ペンソフト（ホワイトボードモード）での操作

画像が転送されると、「データ取り込み」が点滅します。

5. 「データ取り込み」をタッチする。

画像を取り込んだ最初のシートが表示されます。

ご参考

- アプリケーションソフトによっては、正しく変換できない場合があります。
- ペンソフト取り込み用プリンタードライバーの「解像度」は通常 120dpi に設定してください。解像度を高くすると、シートの拡大、縮小、スクロールなどがスムーズに動作しない場合があります。

複合機から画像を取り込む

ペンソフトがインストールされたコンピューターと同一ネットワーク上にシャープ製複合機が接続されている場合、複合機で読み込んだ画像をホワイトボードに取り込むことができます。

ご参考

- ネットワークスキャナツール Lite 1.21 に対応しています。（2010 年8月現在）
- 詳細は複合機をお買い上げの販売店にご確認ください。
- 複合機の操作方法については、複合機の取扱説明書をご覧ください。

ネットワークスキャナツール Lite を使用して画像を取り込む

初めて使用するときは、先にペンソフトがインストールされたコンピューターにネットワークスキャナツール Lite をインストールし、ネットワークスキャナツール Lite の設定を行ってください。（23 ページ）

複合機から画像を取り込む際は、お使いのコンピューターでネットワークスキャナツール Lite が起動している必要があります。

スキャン送信時のフォーマットは、JPEG にしてください。

■ 複合機の操作

1. 複合機に原稿をセットする。

2. ネットワークスキャナツール Lite で登録した送信先を選ぶ。

3. スキャン送信時のフォーマットを JPGE にする。

4. スキャンを実行する。

原稿が読み込まれ、ペンソフトに転送されます。

■ ペンソフト（ホワイトボードモード）での操作

画像が転送されると、「データ取り込み」が点滅します。

5. 「データ取り込み」をタッチする。

画像を取り込んだ最初のシートが表示されます。

印刷する

現在表示しているシートだけを印刷するときは、「現在のシートを印刷」をタッチしてください。
ホワイトボードモードで全てのシートを印刷するときは、「すべてのシートを印刷」をタッチしてください。
印刷設定はあらかじめ登録しておきます。

ご参考

- ツールバーやタブなど、本ソフトウェアの操作ツールは印刷されません。
- ホワイトボードモードでは、データのないシートは印刷されません。

■ 印刷の設定を登録する

1.「設定」ダイアログボックス（20 ページ）で、「現在のシートを印刷」または「すべてのシートを印刷」をタッチする。

2. 印刷の設定をする。（下記）

3. 設定が終わったら、「OK」をタッチする。



①プリンター名
印刷するプリンターを選びます。

②プロパティ
プリンターの詳細設定を行います。設定内容はプリンターによって異なります。内容については、プリンターの取扱説明書を参照してください。

③印刷部数
印刷する部数を設定します。

④印刷オプション

- ホワイトボードの背景色を印刷する（ホワイトボードモード時のみ）：ホワイトボードの背景に設定した色を印刷する場合は、チェックします。
- ページ番号を印刷する（ホワイトボードモード時のみ）：ページ番号を印刷する場合はチェックし、「印刷場所」を選びます。
- 印刷日を印刷する：日付を印刷する場合はチェックし、「印刷場所」を選びます。

ご参考

- 「印刷対象」は変更できません。

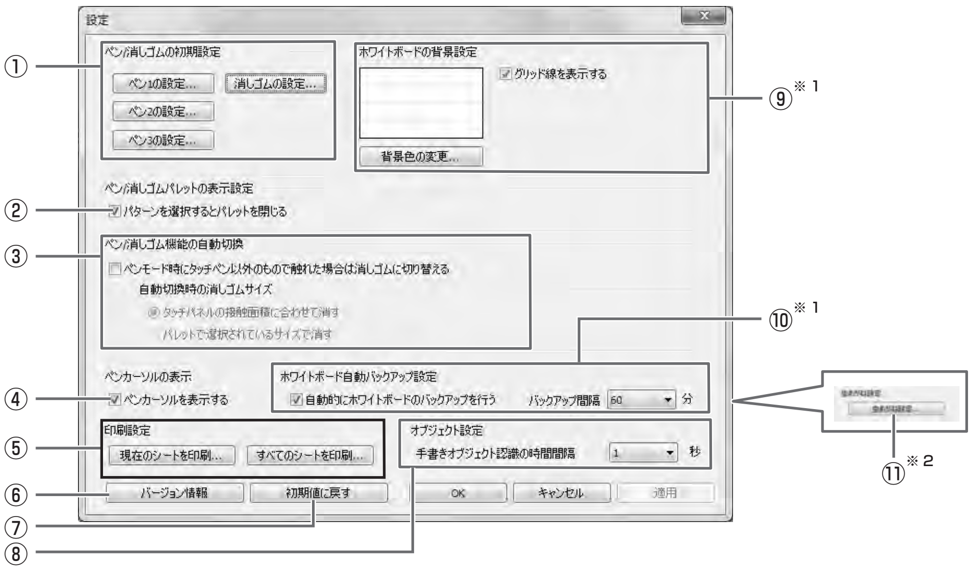
設定をカスタマイズする

本ソフトウェアに関するさまざまな設定を行うことができます。
設定は、ホワイトボードモード、透明ボードモード共通です。ただし画面の内容は起動しているモードにより異なります。

1. 「SHARP ペンソフトの設定」をタッチする。

2. 設定する。（下記）

3. 設定が終わったら、「OK」をタッチする。



※ 1 ホワイトボードモードのみ表示されます。
※ 2 透明ボードモードのみ表示されます。

①ペン / 消しゴムの初期設定

ペンソフトを起動したときの、「ペン 1」～「ペン 3」の色・太さ、「消しゴム」のサイズを設定します。

②ペン / 消しゴムパレットの表示設定

チェックすると、「ペン 1」～「ペン 3」、「消しゴム」のパレットで、パターンを選んだ時点でパレットを閉じます。
チェックを外すと、 を押してパレットを閉じます。

③ペン / 消しゴム機能の自動切換

ペンモード時にタッチペン以外のもので触れた場合は消しゴムに切り替える

チェックすると、ペン機能使用時にイレーザーや指で画面に触れると自動的に消しゴムに変わります。
「自動切換時の消しゴムサイズ」で適用する消しゴムサイズを設定してください。

- タッチパネルの接触面積に合わせて消す：イレーザー使用時など、約 4cm×4cm 以上の大きさで画面に触れているとき、画面に接触している範囲に合わせて消します。
- パレットで選択されているサイズで消す：画面に接触している大きさに関わらず、選択されている消しゴムサイズで消します。

ご参考

- この機能を使用する場合は、タッチパネルドライバーの「プロパティ」を選び、「動作設定」タブの設定を下記のとおりにしてください。タッチパネルドライバーについては、タッチパネルドライバー取扱説明書をご覧ください。
  - 「入力モード設定」を「標準」に設定してください。「標準」以外の設定では、ペン／消しゴムの自動切換機能を使用することはできません。
  - 「タッチパネルの接触面積に合わせて消す」を選んだ場合は、「消しゴム領域検出」を「有効」に設定してください。

④ペンカーソルの表示

ペン機能で描くときにカーソルを表示するかどうかを設定します。

⑤印刷設定

印刷の設定を登録します。（19 ページ）

⑥バージョン情報
本ソフトウェアのバージョン情報を表示します。

⑦初期値に戻す
設定を初期値に戻します。

⑧手書きオブジェクト認識の時間間隔
手書き線がオブジェクトとして確定するまでの時間を設定します。

⑨ホワイトボードの背景設定
- プレビュー：現在設定されているホワイトボードのイメージを表示します。
- 背景色の変更：ホワイトボードの背景色を設定します。
- グリッド線を表示する：チェックすると、ホワイトボードにグリッドを表示します。

⑩ホワイトボード自動バックアップ設定
ホワイトボードモード時、自動的にバックアップを行うかどうか設定します。
自動バックアップを行う場合は、その間隔を設定します。

⑪虫めがね設定
拡大表示の大きさや拡大率を設定します。

インストール／アンインストールする

管理者権限を持つユーザーで操作してください。

ペンソフトのインストール

■ .NET Framework 2.0 以降をインストールする

ペンソフトを使うコンピューターに .NET Framework 2.0 以降がインストールされている必要があります。
.NET Framework は、Microsoft 社のホームページからダウンロードしてインストールしてください。

■ ペンソフトをインストールする

1. すべてのアプリケーションソフトを終了する。

2. 付属の CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブにセットする。

3. セットアッププログラムをダブルクリックする。

- 32 ビット版 OS の場合：¥PenSoftware¥jpn¥setup.exe
- 64 ビット版 OS の場合：¥PenSoftware¥jpn_x64¥setup_x64.exe

4. 以降、画面の指示に従って操作する。

- 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、「はい」（または「許可」）をクリックしてください。
- セキュリティの警告画面（発行元を確認できませんでした。）が表示されたら、「許可」をクリックしてください。

インストールが終わると、デスクトップにホワイトボードモードのショートカットアイコン（ ）と、透明ボードモードのショートカットアイコン（ ）が作成されます。
また、ペンソフト取り込み用プリンタードライバーが追加されます。（17 ページ）

■ アンインストールする

1. すべてのアプリケーションソフトを終了する。

2.「スタート」ボタンから「コントロールパネル」を選ぶ。

3.「プログラムのアンインストール」をクリックする。

- アイコン表示（クラシック表示）では、「プログラムと機能」をダブルクリックします。
- Windows XP のときは、「プログラムの追加と削除」をクリックします。（クラシック表示では、「プログラムの追加と削除」をダブルクリックしてください。）

4.「SHARP Pen Software」を選び、「アンインストール」をクリックする。

Windows XP のときは、「削除」をクリックしてください。

5. 以降、画面の指示に従って操作する。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、「続行」をクリックしてください。

これでアンインストールは終了です。

ネットワークスキャナツール Lite のインストール

ネットワークスキャナツール Lite は、同一ネットワークに接続されたシャープ製複合機から画像を取り込む場合に使用します。

■ ネットワークスキャナツール Lite をインストールする

ネットワークスキャナツール Lite は、弊社のホームページから入手し、ペンソフトを使うコンピューターにインストールしてください。対象機種やインストール方法についても弊社のホームページでご確認いただけます。
ネットワークスキャナツール Lite の詳細な使用方法については、ネットワークスキャナツール Lite のユーザーガイドをご覧ください。

ご参考

- ネットワークスキャナツール Lite の代わりに、複合機やネットワークスキャナ拡張キットに付属のネットワークスキャナツール（バージョン 3.1 以降）を使用することもできます。（すでにインストールされている場合は、再インストールする必要はありません。）

■ ネットワークスキャナツール Lite を設定する

複合機で読み取った画像を取り込むためのフォルダーを、複合機のアドレス帳に送信先として登録します。
送信先は、ネットワークスキャナツール Lite でペンソフト用のプロファイルを作成することにより登録できます。
プロファイルを作成する際、「ファイルの移動先を設定する」を選択し、「詳細」で画像を取り込むためのフォルダー（下記）を選んでください。

- Windows Vista/7 の場合
  起動ディスク :¥ProgramData¥SHARP¥PenSoftware¥JPEG
- Windows XP の場合
  起動ディスク :¥Documents and Settings¥All Users¥Application Data¥SHARP¥PenSoftware¥JPEG

■ アンインストールする

タスクバーからネットワークスキャナツール Lite を終了させ、22 ページを参照してアンインストール画面を表示し、「ネットワークスキャナツール Lite」を削除してください。

Contents

Introduction

This software is intended to facilitate effective meetings and presentations.

- Letters can be created directly so that the computer screen can be used as a whiteboard.
- Any document can be converted into an image and imported for display.
- An image can be acquired from a multifunction machine for display.
- The contents being edited can be printed out or saved.

This software is for the PN-L601B.

Important Information

- This software has been shipped after strict quality control and product inspection. If, however, you find any failure or malfunction, contact your product dealer.
- Please understand that SHARP CORPORATION bears no responsibility for errors made during use by the customer or a third party, nor for any other malfunctions or damage to this software arising during use, except where indemnity liability is recognized under law.
- Transcribing or duplicating part or all of this manual and/or this software without permission from our company is not permitted.
- As a part of our policy of continuous improvement, SHARP reserves the right to make design and specification changes for product improvement without prior notice. The performance specification figures indicated are nominal values of production units. There may be some deviations from these values in individual units.
- This software uses the ImageKit7 technology. ImageKit7 Copyright © 2005 Newtone Corp.
- The contents or details may vary depending on the screen configuration and OS version, etc.
- Only an English version of this software is provided. The screens shown in the manual are the screens that appear in the English OS.
- This manual does not contain basic operating instructions for Windows.
- The paths used in this manual assume the case where this software being installed in the default folder. The actual path may vary depending on the folder specified during installation.

Trademarks

- Microsoft, Windows, and Windows Vista are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- Names of products and other proper nouns are the registered trademarks or trademarks of their respective copyright holders.

Starting and Exiting the Software

Pen Software modes and how to start the modes

TIPS

- The use of a secondary display is not supported.
- Whiteboard mode and overlay mode cannot be started at the same time.
  To change modes, exit the current mode and start the other mode.
- To prevent the Windows taskbar from moving, lock it.

■ Whiteboard mode

You can use the screen as a whiteboard.
The work area is displayed for each “sheet”. By changing the sheet, you can edit data on another screen.



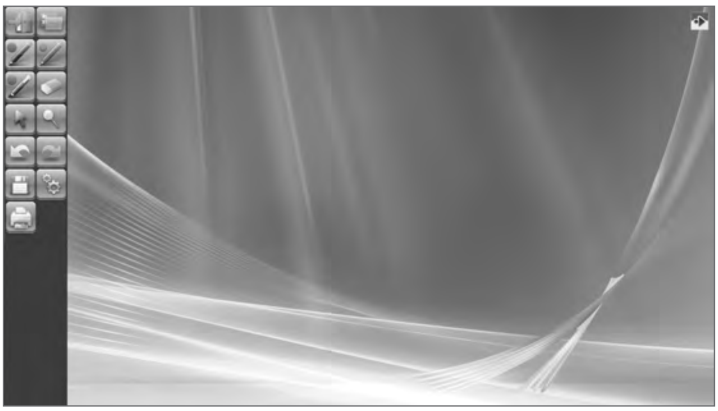
Starting whiteboard mode

Follow the steps below to start the software.

- On the desktop, touch the “SHARP Pen Software” shortcut icon ( ) twice quickly (or double-click the icon).
- Click the “Start” button, and then select “All Programs” - “SHARP Pen Software” - “SHARP Pen Software”.
- Touch a whiteboard file (a file saved in the SWS format) twice quickly (or double-click the file).

■ Overlay mode

The board is shown as transparent.
The work area consists of a single screen.
Your drawing will appear on the transparent board placed over the screen, so that you can write comments directly on the items displayed on the screen. Note, however, that you cannot operate the screen shown behind the transparent board.



Starting overlay mode

Follow the steps below to start the software.

- On the desktop, touch the “SHARP Pen Software (Overlay mode)” shortcut icon ( ) twice quickly (or double-click the icon).
- Click the “Start” button, and then select “All Programs” - “SHARP Pen Software” - “SHARP Pen Software (Overlay mode)”.

Exiting the software

Touch the “Quit” button.

When there is no data which is being edited and is not saved

The software is exited.

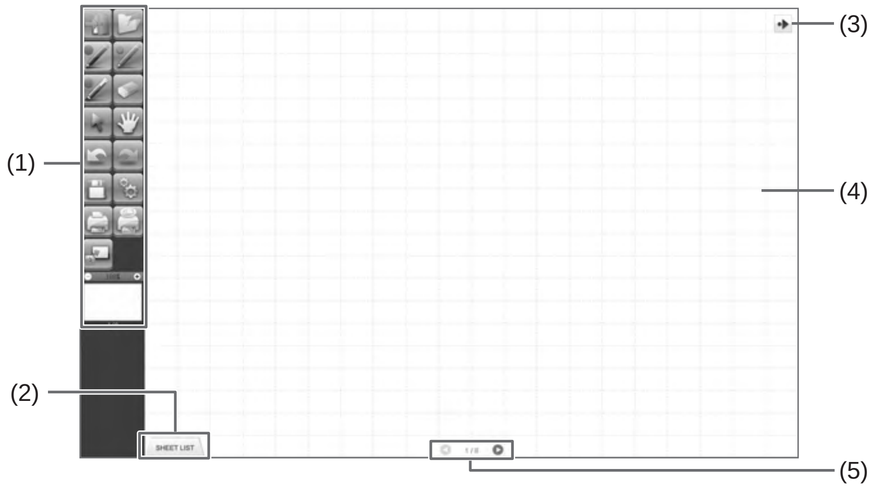
When there is data which is being edited and is not saved

A confirmation dialog box appears.
When you touch “Save and exit”, a dialog box appears to allow you to specify the destination to save the data. Confirm the saving format, specify the destination, and save the data. (Page 7)
When you touch “Exit without saving”, the software is terminated without saving the data.



Layout of Basic Screen

Screen example: Whiteboard mode



(1) Toolbar

Used to switch functions. (Page 6)

(2) SHEET LIST

This is displayed only in the whiteboard mode.
Touch this tab to display the list of sheets shown as thumbnail images. (Page 8)

(3) Move toolbar icon

This appears on the side opposite to the toolbar, and can be touched to move the toolbar to that side. (The icon and the toolbar will switch places.)

(4) Board

Work area. You can write letters, draw lines, and paste images here.
The board can be displayed in two modes: whiteboard mode and overlay mode. The latter is transparent, showing the background.

TIPS

- The background color and grid used in the whiteboard mode can be changed. (Page 20)

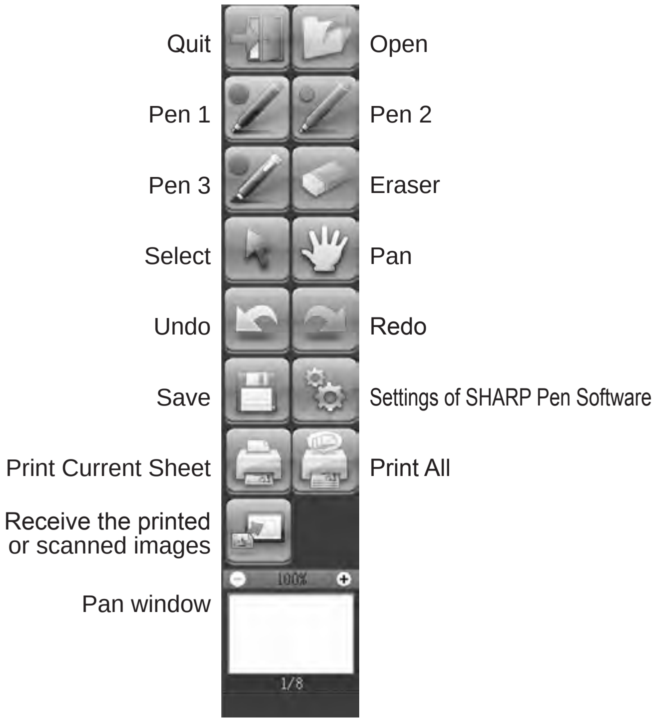
(5) Sheet navigation buttons/Page No.

This is displayed only in the whiteboard mode.
Touch the sheet navigation button to change the displayed sheet. (Page 8)
The number shown at the center is the page No. of the current sheet.

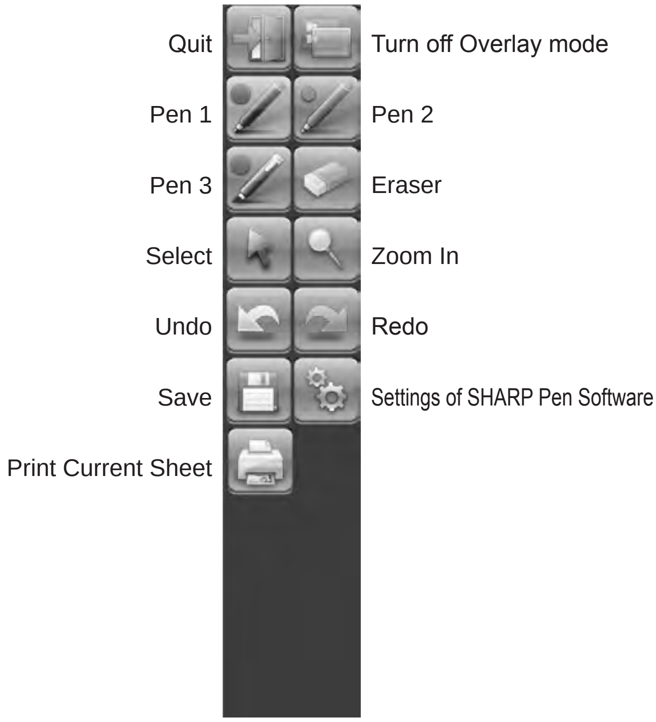
Toolbar function buttons

The functions of the toolbar are shown as buttons. Touch a button to select the function of that button.
The function buttons that appear on the toolbar vary depending on the mode.

Whiteboard mode



Overlay mode



Button	Function	Page
Quit	Exit this software.	4
Open*1	Open a whiteboard file.	7
Turn off Overlay mode*2	Turn off overlay mode. By disabling the board function temporarily, you can operate something other than the software (files, other application software, etc.).	-
Pens 1 to 3	Draw lines.	10
Eraser	Erase hand-drawn lines.	11
Select	Select an object.	12
Pan*1	Enlarge the view of the whiteboard, change the display position, and change pages.	8, 15
Zoom In*2	Enlarge part of the screen in overlay mode.	16
Undo	Cancel the immediately preceding operation.	14
Redo	Redo the immediately preceding canceled operation.	14
Save	Save the data being edited.	7
Settings of SHARP Pen Software	Set this software according to the user's preference.	20
Print Current Sheet	Print the displayed sheet.	19
Print All*1	Print all sheets.	19
Receive the printed or scanned images*1	Paste an image file acquired from the Pen Software printer driver or a multifunction machine onto the board.	17, 18
Pan window*1	This shows a thumbnail image of the displayed sheet. Operate inside this window to enlarge the view of the board or move the display position.	15

*1 Only appears in whiteboard mode.
*2 Only appears in overlay mode.

Saving and Opening a File

Saving data

Data can be saved in the following file formats:

File format	Description
Whiteboard file	Data on the whiteboard is saved in the SWS format. The saved data can be re-edited with this software.
PDF, BMP, JPEG, PNG	The working screen is saved as a screen shot. The data is converted into the different file format so that it cannot be re-edited with the software.

In the whiteboard mode

Data can be saved in any of the file formats above.

All sheets will be saved. (A sheet without data will not be saved.)

When data is saved in BMP, JPEG, or PNG format, each sheet is saved in a separate file.

In the overlay mode

Data can be saved in PDF, BMP, JPEG, or PNG format.

1. **Touch the “Save” button.**
2. **Select the file format from the drop-down list.**
3. **Specify the destination and touch “Save”.**

■ Automatic backup

This function automatically backs up the whiteboard file at specified intervals.
(The automatic backup cannot be used for the data in the overlay mode.)
You can change whether to enable/disable the automatic backup and the backup interval time. (Page 20)

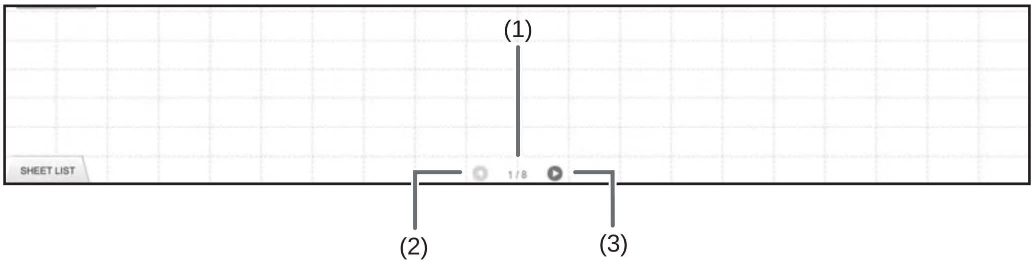
Opening the whiteboard file

When whiteboard mode is started, a new whiteboard file opens. (If you start the software by directly touching a whiteboard file, the whiteboard file opens.)
To open a saved whiteboard file, touch the “Open” button and select the file. (If the data being edited is not saved, the file saving confirmation dialog box appears.)

Edit Operations

Changing the sheet to edit (whiteboard mode)

In the whiteboard mode, each screen is displayed on a sheet.
To change the sheet, touch the sheet navigation button at the bottom of the screen. The number shown at the center is the page No. of the current sheet.



(1) Page No. of the current sheet

(2) Sheet navigation button (Previous)

Touch this button to display the previous sheet. When the first sheet is displayed, this button is disabled.

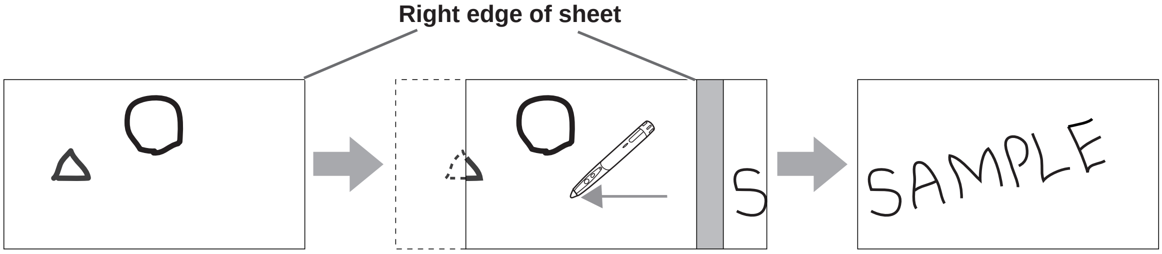
(3) Sheet navigation button (Next)

Touch this button to display the next sheet. When the last sheet is displayed, this button is disabled.

■ Changing the sheet by dragging the screen

A sheet can be changed by dragging when the zoom (enlargement percentage) is 100%.

1. **Touch the "Pan" button.**
2. **Drag horizontally with the touch pen.**
   - Drag to the right to show the previous sheet.
   - Drag to the left to show the next sheet.

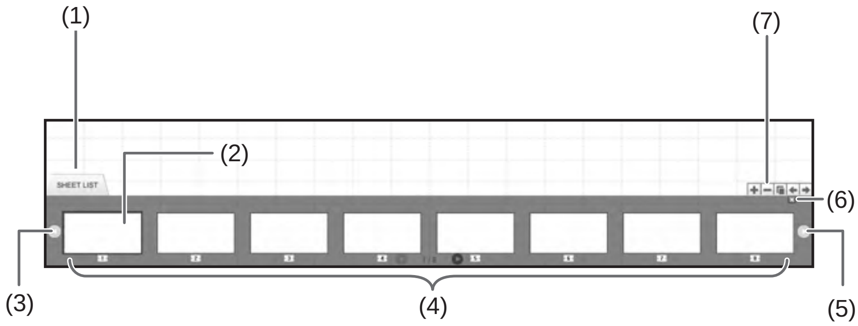


■ Changing the sheet by referring to thumbnail images / Editing the sheet

Thumbnails of each sheet appear in “SHEET LIST” in the bottom left corner of the screen. A thumbnail can be touched to change to that sheet. The sheets can be edited, including adding, deleting, copying, and moving sheets.

1. **Touch “SHEET LIST” in the lower left corner of the screen.**
   The list of the thumbnail images of the sheets is displayed.

2. **Touch the thumbnail image of the sheet you want to display.**
   The screen changes to the selected sheet.



(1) SHEET LIST

(2) Currently selected sheet

(3) Thumbnail navigation button (Previous)

(4) Thumbnail images

(5) Thumbnail navigation button (Next)

(6) Touch this button to close the sheet list.

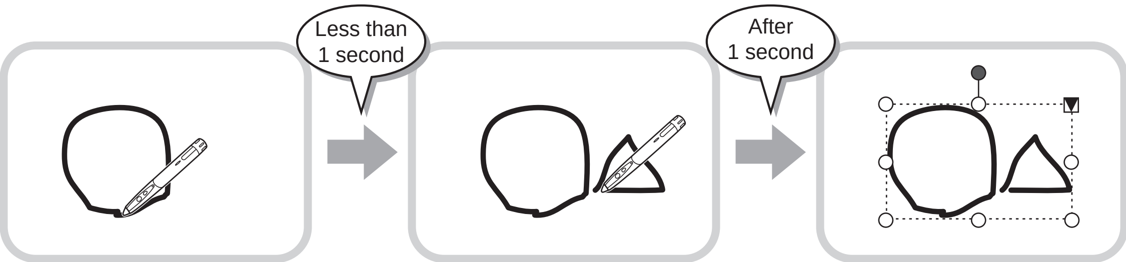
(7) [+]: Add a new sheet to the right of the selected sheet.
[−]: Delete the selected sheet.
[copy]: Copy the selected sheet and insert it on the right of the selected sheet.
[←]: Move the selected sheet one to the left.
[→]: Move the selected sheet one to the right.

Drawing with a Pen

1. Touch any of the  "Pen 1" to "Pen 3" buttons.

2. Draw on the board.

The drawn shape will be determined as an object 1 second* after you lift the touch pen from the board. If you start drawing another object within 1 second* after you lift the touch pen from the board, the drawn shapes will be determined to be a single object even though they are separate.
* This period can be changed. (Page 20)



Draw a shape.

Draw another shape.

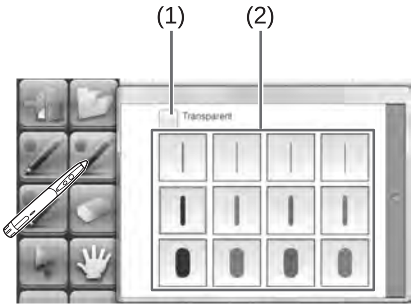
Both shapes are determined as a single object.

TIPS

- You can switch through "Pen 1" to "Pen 3" and "Eraser" by repeatedly pressing Function Button 2 of the touch pen.
  To change functions using Function Button 2, select the touch panel driver "Properties", and set "Function Button 2" to "Pen Software Link" on the "OPERATION SETTING" tab.
- For details about objects, refer to page 12.
- In certain cases, such as when a button on the toolbar is touched, the drawn shape will be fixed as an object before the specified time elapses after the touch pen is lifted from the board.

■ Changing the color and thickness of the pen

The "Pen 1" to "Pen 3" palettes can be used to change the pen function settings.
To display the palette, touch the button of the selected pen once again.



(1) Check this box to make the line transparent.
The pen icon changes when this setting is enabled.

Normal **Transparent**

(2) Set the color and thickness of the line.
The palette is closed.

TIPS

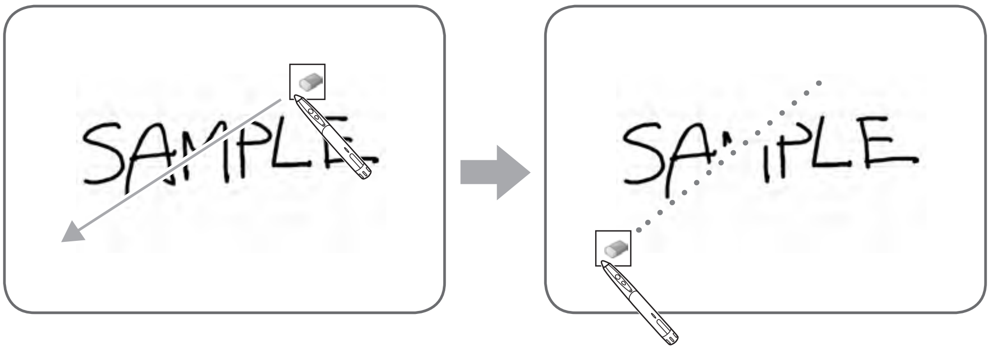
- The method of closing the palette can be changed. (Page 20)

Erasing a drawn line

1. Touch the  “Eraser” button.

2. With the pen touching the screen, move the pen.

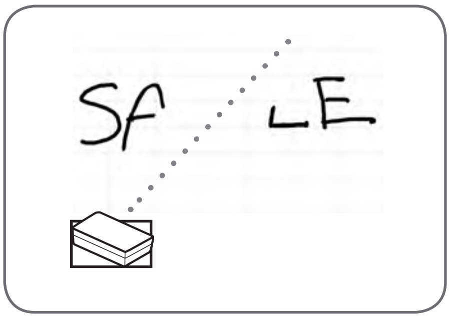
The part you move over is erased.



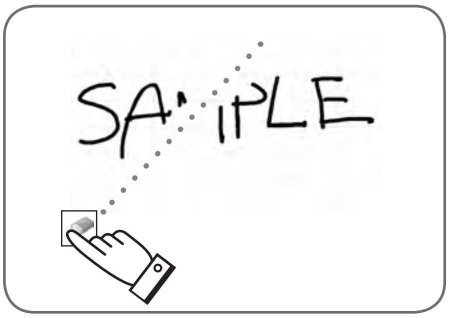
TIPS

- You can switch through “Pen 1” to “Pen 3” and “Eraser” by repeatedly pressing Function Button 2 of the touch pen.
  To change functions using Function Button 2, select the touch panel driver “Properties”, and set “Function Button 2” to “Pen Software Link” on the “OPERATION SETTING” tab.
- The eraser function can erase only the objects drawn with the pen function. You cannot use the “Eraser” button to erase pasted images. You cannot use it either to erase the edges of a line to make the line thinner. Even if you erase the edges only, the entire width of the line will be erased.
- An object drawn with the pen function cannot be erased if it is part of a group.
- When “Auto Pen/Eraser Mode Switching” is enabled (page 20), you can erase with the eraser or your finger when one of “Pen 1” to “Pen 3” or “Eraser” is selected. Touch the screen with the eraser or your finger, and after the cursor changes to the eraser, move the eraser or your finger. You can set the eraser size for erasing with the eraser or your finger to the touched area of the screen, or to the size selected on the palette.

When "The area you touch (or cover)" is selected



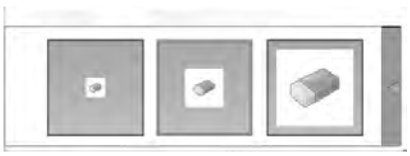
When “The selected size in Eraser Palette” is selected



- With Windows Vista/7, the display changes as follows when the “Eraser” button is selected in the overlay mode. The display returns to normal when the function other than the “Eraser” button is selected.
  - The computer screen in the background is hidden even by translucent objects.
  - An object is surrounded with a white line.

■ Changing the eraser size

The size of the eraser can be changed by selecting it from the palette for the “Eraser” button.
To display the palette, touch the  “Eraser” button again while it is in the selected state.



TIPS

- The method of closing the palette can be changed. (Page 20)

Editing an object

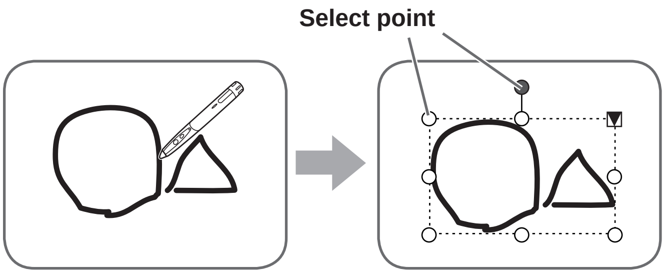
The drawn lines and the images pasted on the board are handled in the software as an “object”.

■ Selecting an object

You need to select an object before editing it.

1. **Touch the “Select” button.**
2. **Touch an object.**

   The object is selected.



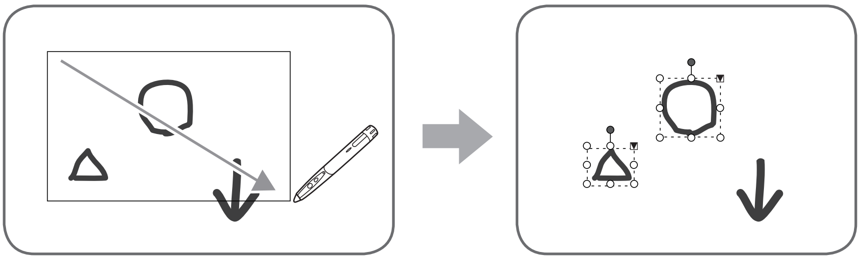
Touch an object.
Touch an area where something is drawn. You cannot select an object by touching the area where nothing is drawn.

Selected object
The area of the object is indicated with a dotted line, and symbols called select points appear on the vertices and sides of the area.

When you select an object and then touch ▼, the expansion menu appears to allow you the following edit operations:

- Cut
- Copy
- Paste
- Delete
- Rotate
- Order
- Cancel selection
- Group
- Ungroup
- Property

By specifying an area by dragging, you can select several objects inside the area. (Objects which are not entirely included in the area are not selected.)



■ Grouping objects

You can edit several selected objects as one object.

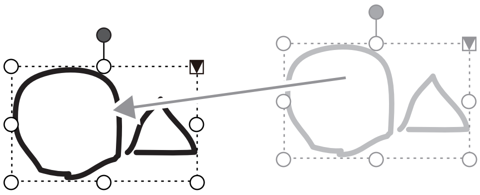
1. **Select objects to be grouped.**
2. **Select “Group” from the expansion menu.**

Canceling the grouping

1. **Select the grouped objects.**
2. **Select “Ungroup” from the expansion menu.**

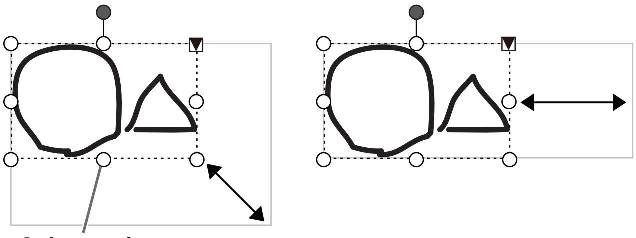
■ Moving an object

You can move an object by selecting the object and dragging it.



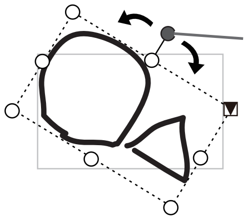
■ Enlarging/reducing an object

1. **Select an object.**
2. **Drag the select point.**
   - Dragging the select point on the vertex enlarges/reduces the object with the same aspect ratio.
   - Dragging the select point on the side enlarges/reduces the object in the direction of either width or height.
   - The line width remains the same after the object is enlarged/reduced.



■ Rotating an object

1. **Select an object.**
2. **Drag the select point at the center top.**
   Or, select "Rotate Right", "Rotate Left" or "Rotate 180 degrees" from "Rotate" in the expansion menu.



■ Copying an object

You can copy an object to the clipboard.

1. **Select an object.**
2. **Select "Copy" from the expansion menu.**

■ Cutting an object

You can cut an object and save it to the clipboard.

1. Select an object.

2. Select "Cut" in the expansion menu.

■ Pasting an object

To paste the object in the clipboard, select "Paste" in the expansion menu.

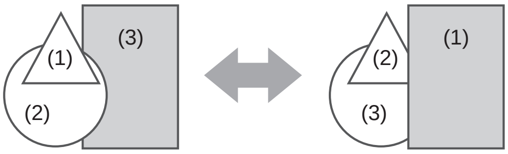
■ Changing the order of objects

You can change the order of the object placement.

1. **Select an object.**
2. **Select the object placement from “Order” in the expansion menu.**
   - Bring to Front : The object moves to the front.
   - Send to Back : The object moves to the back.
   - Bring forward : The object moves one forward.
   - Send backward : The object moves one backward.

Object placement order

When several objects overlap, the objects at the back are hidden behind the objects in front. To show the hidden part, change the placement order of the objects.



(1) Object placed in front of the other objects
(2) Object placed second from the front object
(3) Object placed at the back of the other objects

Undoing/redoing operation

Touching the “Undo” button cancels the preceding drawing or editing operation.

Touching the “Redo” button repeats the operation canceled with the “Undo” button.

TIPS

- Up to 50 actions can be undone.

Deleting an object

1. **Select an object.**
2. **Select “Delete” from the expansion menu.**

   The selected object disappears.

Enlarging the view of the screen

The steps for enlarging the view of the screen vary depending on the mode.

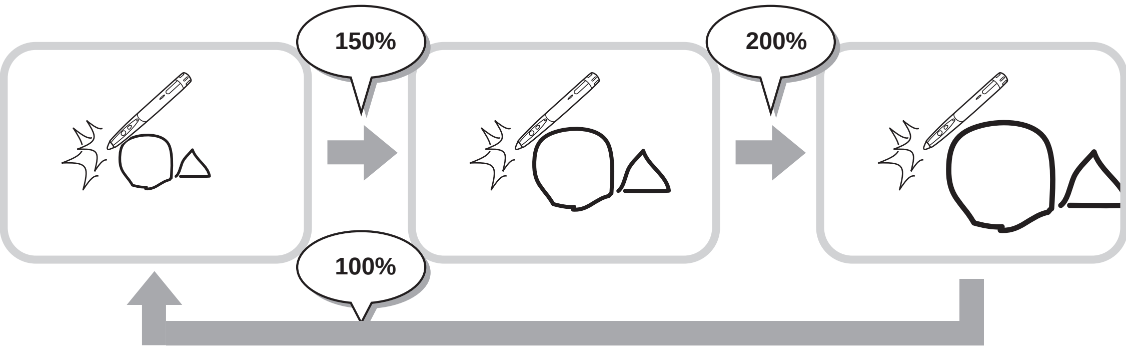
■ Enlarging the screen in whiteboard mode

Double-click to enlarge the screen

1. Touch the "Pan" button.

2. Quickly touch the part of the board that you want to enlarge twice (double-click).

Each time you double-click, the view changes in the order 100% > 150% > 200%, centered on the click position. Double-clicking at 200% returns the view to 100%.

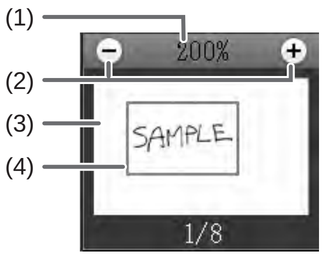


Changing the display position when the view is enlarged

To change the display position, drag on the screen with "Pan" selected.

Enlarging the view of the screen with the pan window

A thumbnail of the current sheet appears in the pan window on the toolbar.



(1) Magnification

Shows the current screen magnification.

(2) [-] [+]

Touch to enlarge or reduce the view between 100% and 400% in increments of 50%.

(3) Pan window

Shows a thumbnail of the current sheet. Double-click to change the view in the order 100% > 150% > 200%, centered on the double-click position.

(4) Display frame

Shows the area that is displayed on the screen. To move the area that is displayed, drag the display frame.

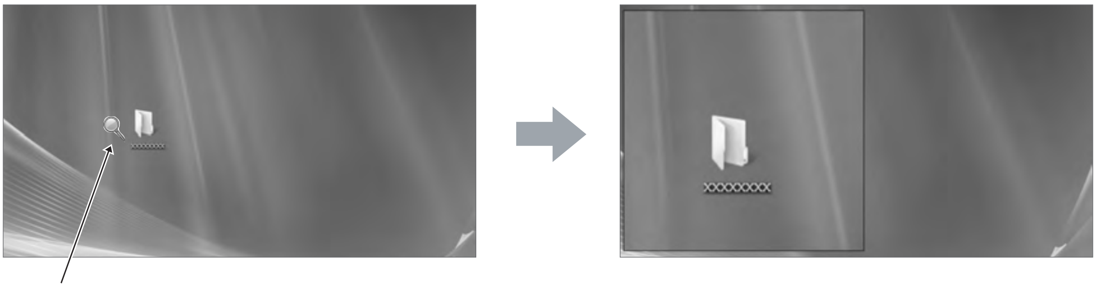
■ Enlarging the screen in overlay mode

You can enlarge part of the screen and display it.

1. Touch the "Zoom In" button.

2. Touch the board.

The area around the touched point is enlarged and displayed.



Touch the point to enlarge.

The area around the point is enlarged.

Importing a Document as an Image (Pen Software Printer Driver)

A document of any application can be converted into an image and displayed on the whiteboard.
A document is imported as an image similar to an image printed by a printer.

■ In the software application

1. **In the software application, open the document that you wish to import.**
2. **Select the print command and open the print settings screen.**
   For details, see the manual for the software application.
3. **Change the printer to "Send print data to SHARP Pen Software", and select print settings.**
   - "Paper Size", "Orientation", and "Resolution" can be selected.
   - When you have finished selecting settings, touch "OK".
4. **Execute printing.**
   The printed document will be converted into an image and sent to the Pen Software.

■ In the Pen Software (whiteboard mode)

When the image has been sent, the "Receive the printed or scanned images" button will blink.

5. **Touch the "Receive the printed or scanned images" button.**
   The first sheet of the acquired image appears.

TIPS

- It may not be possible to correctly convert documents from some software applications.
- The "Resolution" setting of the Pen Software printer driver should normally be set to 120 dpi. If set to a higher setting, operations such as enlarging, reducing, and scrolling the sheet may not take place smoothly.

Acquiring an Image From a Multifunction Machine

If a SHARP multifunction machine is connected to the same network as the computer on which the Pen Software is installed, an image scanned on the multifunction machine can be acquired onto the whiteboard.

TIPS

- Supports the Network Scanner Tool 3.3 or higher (as of August, 2010).
- For details, contact your dealer or nearest authorized service representative for the multifunction machine.
- For the procedures for using the multifunction machine, see the manual for the multifunction machine.

Using the Network Scanner Tool to acquire an image

The first time you use the Network Scanner Tool, install the Network Scanner Tool on the computer on which the Pen Software has been installed and configure the Network Scanner Tool settings. (Page 23)
To acquire an image from a multifunction machine, the Network Scanner Tool must be running on your computer.
Use JPEG for the scan send format.

■ In the multifunction machine

1. **Place the document in the multifunction machine.**
2. **Select a destination stored in the Network Scanner Tool.**
3. **Select JPEG for the scan send format.**
4. **Execute scanning.**
   The document will be scanned and sent to the Pen Software.

■ In the Pen Software (whiteboard mode)

When the image has been sent, the “Receive the printed or scanned images” button will blink.

5. **Touch the “Receive the printed or scanned images” button.**
   The first sheet of the acquired image appears.

Printing

To print only the currently displayed sheet, touch the "Print Current Sheet" button.
To print all sheets on the whiteboard, touch the "Print All" button. (Whiteboard mode only)
Store the print settings ahead of time.

TIPS

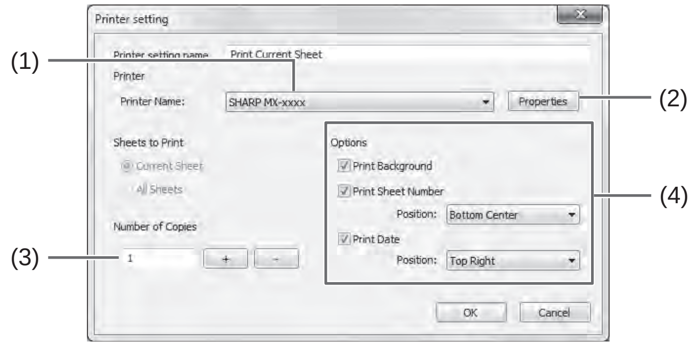
- The operation tools of the software, such as the toolbars and tabs will not be printed.
- In the whiteboard mode, a sheet with no data will not be printed.

■ Register the settings for printing

1. In the "Settings" dialog box (page 20), touch "Print Current Sheet" or "Print All".

2. Specify the print settings. (See below.)

3. When you finish adjusting the settings, touch "OK".



(1) Printer Name

Select the printer to be used for printing.

(2) Properties

Set the printer details. The setting options depend on the printer. For the setting options, refer to the instruction manual of the printer.

(3) Number of Copies

Specify the number of copies to print.

(4) Options

- Print Background : Select this to print the color that is set for the whiteboard background. (Only when in whiteboard mode)
- Print Sheet Number : Select this to print page numbers, and select the "Position". (Only when in whiteboard mode)
- Print Date : Select this to print the print date, and select the "Position".

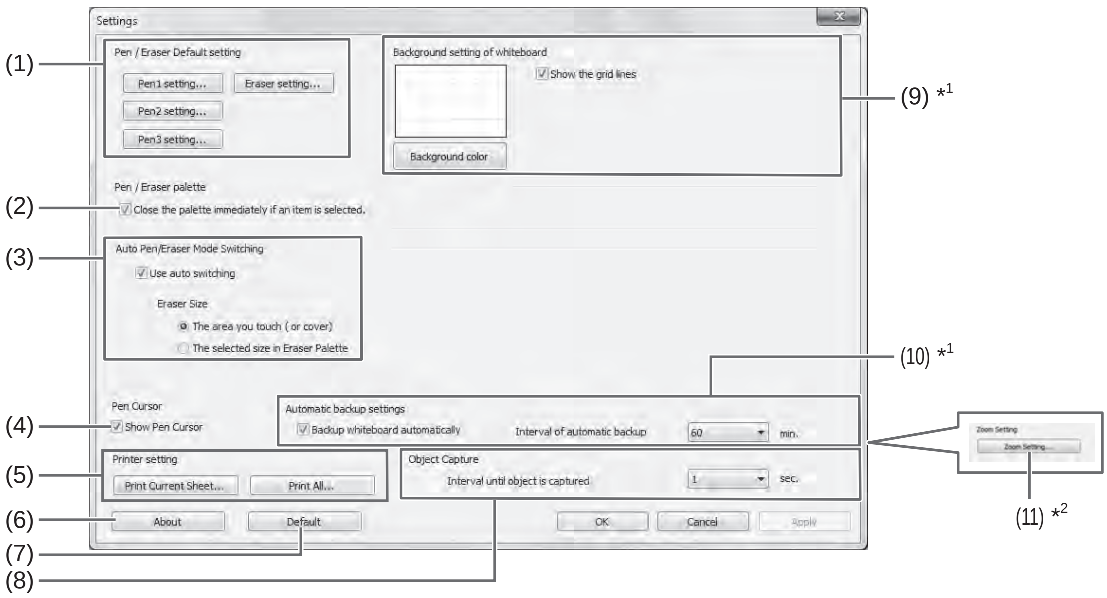
TIPS

- "Sheets to Print" cannot be changed.

Customizing the Settings

You can customize various settings of this software.
The settings are the same in both whiteboard mode and overlay mode. However, the contents of the screen will vary depending on which mode is started.

1. Touch the "Settings of SHARP Pen Software" button.
2. Set the options as necessary. (See below.)
3. When you finish adjusting the settings, touch "OK".



*1 Only appears in whiteboard mode.
*2 Only appears in overlay mode.

(1) Pen/Eraser Default setting

Set the initial color and thickness of "Pen 1" to "Pen 3", and the initial size of the "Eraser".

(2) Pen/Eraser palette

Select this to have the palettes of "Pen 1" to "Pen 3" and "Eraser" close when a pattern is selected from a palette.
If the checkmark is removed, must be clicked to close the palette.

(3) Auto Pen/Eraser Mode Switching

Use auto switching
To use this function, select this to have the pen automatically switch to the eraser when the screen is touched with the eraser or your finger in pen mode. Set the eraser size that is applied in "Eraser Size".

- The area you touch (or cover) : When using an eraser or other object and the area of contact on the screen is at least 1-9/16 inch (4 cm) x 1-9/16 inch (4 cm), erase the area of contact.
- The selected size in Eraser Palette : Erase with the selected eraser size regardless of the amount of contact on the screen.

IMPORTANT

- To use this function, select the touch panel driver "Properties", and configure the settings on the "OPERATION SETTING" tab as shown below. For information on the touch panel driver, see the Touch Panel Driver Operation Manual.
  - Set "Input Mode Setting" to "Standard". If set to other than "Standard", the pen/eraser auto switching function cannot be used.
  - If you have selected "The area you touch (or cover)", set "Detect Eraser Area" to "Enable".

(4) Pen Cursor

Set whether to show a cursor when you draw with the pen function.

(5) Printer setting

Register the settings for printing. (Page 19)

(6) About

The version information of this software is displayed.

(7) Default

Reset the settings to the initial values.

(8) Interval until object is captured

Set the period until a hand-drawn line is determined as an object.

(9) Background setting of whiteboard

- Preview : The image of the whiteboard with the current setting is displayed.
- Background color : Set the background color of the whiteboard.
- Show the grid lines : Select to show the grid on the whiteboard.

(10) Automatic backup settings

Specify whether to back up data automatically in the whiteboard mode.
To use the automatic backup, specify the interval.

(11) Zoom Setting

Specify the size and magnification of the zoom display.

Installing/Uninstalling the Software

The operations in this section require administrator privilege.

Installing the Pen Software

■ Installing .NET Framework 2.0 or later

.NET Framework 2.0 or later must be installed on the computer on which the Pen Software will be used.
Download and install .NET Framework from Microsoft’s website.

■ Installing the Pen Software

1. Exit all running software applications.

2. Insert the supplied CD-ROM into the CD-ROM drive of the computer.

3. Double-click the setup program.

- 32-bit operating system: \PenSoftware\eng\setup.exe
- 64-bit operating system: \PenSoftware\eng_x64\setup_x64.exe

4. For the remainder of the procedure, follow the instructions shown on the screen.

- When the “User Account Control” dialog box appears, click “Yes” (or “Allow”).
- When a security warning screen (The publisher could not be verified.) appears, click “Allow”.

When installation is finished, shortcut icons for whiteboard mode () and overlay mode () will be created on the desktop.
The Pen Software printer driver will also be added. (Page 17)

■ Uninstalling

1. Exit all running software applications.

2. Click the “Start” button and select “Control Panel”.

3. Click “Uninstall a program”.

- If you are using icon view (Classic View), double-click “Programs and Features”.
- When Windows XP is used, click “Add or Remove Programs”. (In the classic view, double-click “Add or Remove Programs”.)

4. Select “SHARP Pen Software” and click “Uninstall”.
When Windows XP is used, click “Remove”.

5. For the remainder of the procedure, follow the instructions shown on the screen.
When the “User Account Control” dialog box appears, click “Continue”.

This completes the uninstallation process.

Installing the Network Scanner Tool

The Network Scanner Tool is used to acquire an image from a SHARP multifunction machine connected to the same network.

■ Installing the Network Scanner Tool

The Network Scanner Tool is not included on the provided CD-ROM. Use the Network Scanner Tool (Version 3.3 or later) that is provided with the multifunction machine. (If already installed, there is no need to reinstall.)
For details on installing and using the Network Scanner Tool, see the Network Scanner Tool user's guide. For questions on the compatibility of your multifunction machine or the Network Scanner Tool, contact your dealer or authorized service representative.

■ Configuring settings for the Network Scanner Tool

The folder that will be used to acquire images scanned from the multifunction machine must be stored as a destination in the multifunction machine's address book. When creating a profile, select "Move File to Folder"and set the folder (below) for acquiring images in "Details".

- Windows Vista/7:
  Startup drive:\ProgramData\SHARP\PenSoftware\JPEG
- Windows XP:
  Startup drive:\Documents and Settings\All Users\Application Data\SHARP\PenSoftware\JPEG

■ Uninstalling

Exit the Network Scanner Tool from the taskbar, open the uninstall screen as explained on page 22, and remove "Network Scanner Tool" (or "Sharpdesk").

Table des matières

Introduction

Ce logiciel a été conçu pour faciliter la réalisation de réunions et de présentations efficaces.

- Vous pouvez créer directement les lettres de manière à pouvoir utiliser l'écran de l'ordinateur comme un tableau blanc.
- Vous pouvez convertir n'importe quel document en image et l'importer pour l'afficher.
- Vous pouvez acquérir une image à partir d'une machine multifonctions pour l'afficher.
- Vous pouvez imprimer ou sauvegarder le contenu en cours d'édition.

Ce logiciel est destiné au PN-L601B.

Informations importantes

- Ce logiciel a été expédié après avoir subi un contrôle de qualité et une inspection du produit rigoureux. Si toutefois une panne ou un dysfonctionnement se produisent, contactez le revendeur de votre produit.
- Veuillez bien comprendre que SHARP CORPORATION ne porte aucune responsabilité en cas d'erreurs survenant lors de l'utilisation par le client ou par un tiers, ou en cas d'autres dysfonctionnements ou dommages de ce logiciel survenant pendant l'utilisation, sauf quand la responsabilité d'indemnisation est reconnue par la loi.
- Il est interdit de transcrire ou de copier tout ou partie de ce manuel et/ou de ce logiciel sans y avoir été autorisé par notre société.
- Dans le cadre de notre politique d'amélioration contenue, SHARP se réserve le droit d'effectuer sans préavis des changements de présentation et de spécifications pour améliorer le produit. Les chiffres indiqués pour les spécifications des performances sont des valeurs nominales des unités de production. Il est possible que ces valeurs soient légèrement différentes de celles des unités individuelles.
- Ce logiciel utilise la technologie ImageKit7. ImageKit7 Droits d'auteur © 2005 Newtone Corp.
- Il est possible que le contenu ou les détails varient selon la configuration de l'écran, la version du système d'exploitation, etc.
- Ce logiciel est fourni en version anglaise seulement. Les écrans montrés dans le manuel sont les écrans qui apparaissent dans le système d'exploitation anglais.
- Ce manuel ne contient pas d'instructions d'utilisation de base pour Windows.
- Pour les chemins utilisés dans ce manuel, il est supposé que ce logiciel est installé dans le dossier par défaut. Le chemin réel peut être différent, selon le dossier spécifié lors de l'installation.

Marques commerciales

- Microsoft, Windows, et Windows Vista sont des marques déposées ou des marques commerciales de la société Microsoft aux États-Unis et/ou dans d'autres pays.
- Les noms de produits et les autres noms propres sont des marques commerciales ou des marques déposées de leurs propriétaires respectifs.

Démarrer et quitter le logiciel

Modes Pen Software et démarrage des modes

Conseils

- L'utilisation d'un affichage secondaire n'est pas prise en charge.
- Il est impossible de démarrer le mode tableau blanc et le mode superposition en même temps.
  Pour changer de mode, quittez le mode actuel et démarrez l'autre mode.
- Pour empêcher la barre des tâches de Windows de se déplacer, verrouillez-la.

■ Mode tableau blanc

Vous pouvez utiliser l'écran comme un tableau blanc.
La zone de travail est affichée pour chaque "sheet (feuille)". En changeant la feuille, vous pouvez éditer les données sur un autre écran.



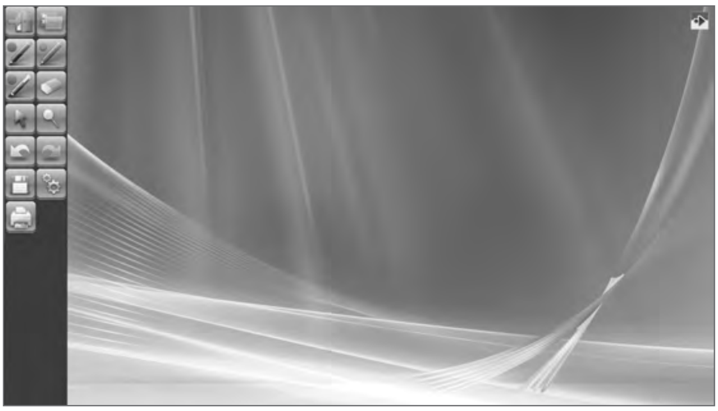
Démarrage du mode tableau blanc

Pour démarrer le logiciel, procédez comme suit.

- Sur le bureau, touchez deux fois en succession rapide l'icône de raccourci "SHARP Pen Software" ( ) (ou cliquez deux fois sur l'icône).
- Cliquez sur la touche "Démarrer", puis sélectionnez "Tous les programmes" - "SHARP Pen Software" - "SHARP Pen Software".
- Touchez deux fois en succession rapide un fichier de tableau blanc (fichier sauvegardé en format SWS) (ou cliquez deux fois sur le fichier).

■ Mode superposition

Le tableau apparaît transparent.
La zone de travail consiste en un seul écran.
Votre dessin apparaîtra sur le tableau transparent placé par-dessus l'écran, de manière que vous puissiez écrire vos commentaires directement sur les éléments affichés sur l'écran. Notez bien toutefois que vous pouvez pas faire fonctionner l'écran apparaissant derrière le tableau transparent.



Démarrage du mode superposition

Pour démarrer le logiciel, procédez comme suit.

- Sur le bureau, touchez deux fois en succession rapide l'icône de raccourci "SHARP Pen Software (Overlay mode)" ( ) (ou cliquez deux fois sur l'icône).
- Cliquez sur la touche "Démarrer", puis sélectionnez "Tous les programmes" - "SHARP Pen Software" - "SHARP Pen Software (Overlay mode)".

Quitter le logiciel

Touchez la touche “Quit” .

Lorsqu’aucune donnée n’est en cours d’édition et n’est sauvegardée

Vous quittez le logiciel.

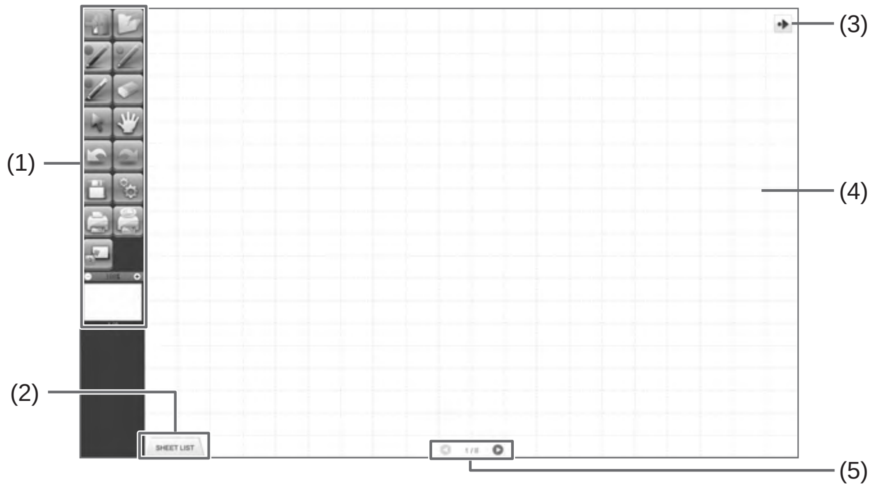
Lorsque des données sont en cours d’édition et ne sont pas sauvegardées

Une boîte de dialogue de confirmation apparaît.
Lorsque vous touchez “Save and exit”, une boîte de dialogue apparaît pour vous permettre de spécifier la destination de sauvegarde des données. Vérifiez le format de sauvegarde, spécifiez la destination, et sauvegardez les données. (Page 7)
Lorsque vous touchez “Exit without saving”, le logiciel est arrêté sans que les données soient sauvegardées.



Disposition de l’écran de base

Exemple d’écran: Mode tableau blanc



(1) Barre d’outils

Utilisée pour passer d’une fonction à une autre. (Page 6)

(2) SHEET LIST

Elle est affichée seulement en mode tableau blanc.
Touchez cet onglet pour afficher la liste des feuilles apparaissant sous forme de vignettes. (Page 8)

(3) Icône de déplacement de barre d’outils

Elle apparaît sur le côté opposé à la barre d’outils; vous pouvez la toucher pour déplacer la barre d’outils vers ce côté. (Les emplacements de l’icône et de la barre d’outils seront permutés.)

(4) Tableau

Zone de travail. Vous pouvez écrire des lettres, dessiner des lignes et coller des images dans cette zone.
Vous pouvez afficher le tableau en deux modes: mode tableau blanc et mode superposition. Ce dernier est transparent; il laisse apparaître l’arrière-plan.

Conseils

- Vous pouvez changer la couleur et la grille de l’arrière-plan utilisées en mode tableau blanc. (Page 20)

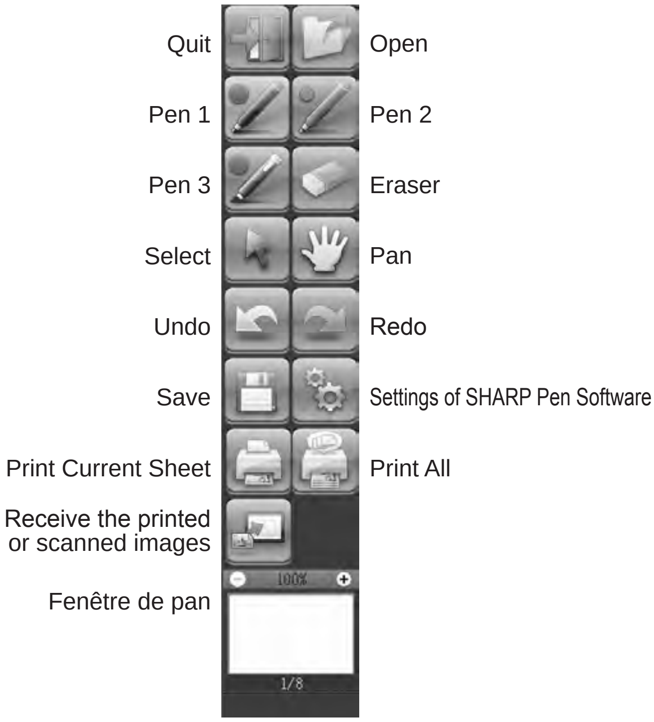
(5) Touches de navigation des feuilles/N° de page

Elle est affichée seulement en mode tableau blanc.
Touchez la touche de navigation des feuilles pour changer la feuille affichée. (Page 8)
Le numéro indiqué au centre est le n° de page de la feuille actuelle.

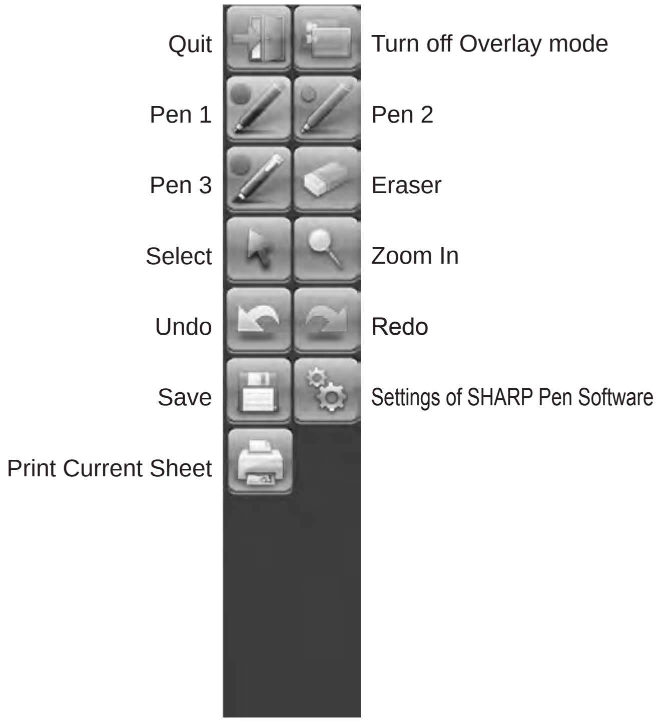
Touches de fonctions de barre d’outils

Les fonctions de la barre d’outils apparaissent sous forme de touches. Touchez une touche pour sélectionner la fonction de cette touche.
Les touches de fonctions qui apparaissent sur la barre d’outils sont différentes selon le mode utilisé.

Mode tableau blanc



Mode superposition



Touche	Fonction	Page
Quit <Quitter>	Quitter ce logiciel.	4
Open <Ouvrir>*1	Ouvrir un fichier de tableau blanc.	7
Turn off Overlay mode <Arrêter le Mode superposition>*2	Arrêter le mode superposition. En désactivant temporairement la fonction de tableau, vous pouvez faire fonctionner quelque chose d’autre que le logiciel (fichiers, autre logiciel d’application, etc.).	-
Pens 1 to 3 <Stylet 1 à Stylet 3>	Dessiner des lignes.	10
Eraser <Gomme>	Effacer des lignes dessinées à la main.	11
Select <Sélectionner>	Sélectionner un objet.	12
Pan*1	Agrandir la vue du tableau blanc, changer la position d’affichage et changer les pages.	8, 15
Zoom In <Zoom avant>*2	Agrandir une partie de l’écran en mode superposition.	16
Undo <Défaire>	Annuler l’opération effectuée immédiatement avant.	14
Redo <Refaire>	Refaire l’opération annulée immédiatement avant.	14
Save <Sauvegarder>	Sauvegarder les données en cours d’édition.	7
Settings of SHARP Pen Software <Réglages de SHARP Pen Software>	Configurer ce logiciel selon les préférences utilisateur.	20
Print Current Sheet <Imprimer la feuille actuelle>	Imprimer la feuille affichée.	19
Print All <Tout imprimer>*1	Imprimer toutes les feuilles.	19
Receive the printed or scanned images <Recevoir l’image imprimée ou numérisée.>*1	Coller sur le tableau un fichier d’image acquis depuis le pilote d’imprimante de Pen Software ou une machine multifonctions.	17, 18
Fenêtre de pan*1	Elle fait apparaître une vignette de la feuille affichée. Effectuez les opérations à l’intérieur de cette fenêtre pour agrandir la vue du tableau ou déplacer la position d’affichage.	15

*1 Apparaît seulement en mode tableau blanc.
*2 Apparaît seulement en mode superposition.

Sauvegarde et ouverture d’un fichier

Sauvegarde des données

Vous pouvez sauvegarder les données dans les formats suivants:

Format de fichier	Description
Fichier de tableau blanc	Les données du tableau blanc sont sauvegardées en format SWS. Les données sauvegardées peuvent être rééditées avec ce logiciel.
PDF, BMP, JPEG, PNG	L’écran de travail est sauvegardé comme capture d’écran. Les données sont converties dans le format de fichier différent, afin qu’il soit impossible de les rééditer avec le logiciel.

En mode tableau blanc

Les données peuvent être sauvegardées dans n’importe lequel des formats de fichier ci-dessus.

Toutes les feuilles seront sauvegardées. (Une feuille sans données ne sera pas sauvegardée.)

Lorsque les données sont sauvegardées en format BMP, JPEG ou PNG, chaque feuille est sauvegardée dans un fichier séparé.

En mode superposition

Les données peuvent être sauvegardées en format PDF, BMP, JPEG ou PNG.

1. **Touchez la touche “Save” .**
2. **Sélectionnez le format de fichier dans la liste déroulante.**
3. **Spécifiez la destination et touchez “Enregistrer”.**

■ Sauvegarde de secours automatique

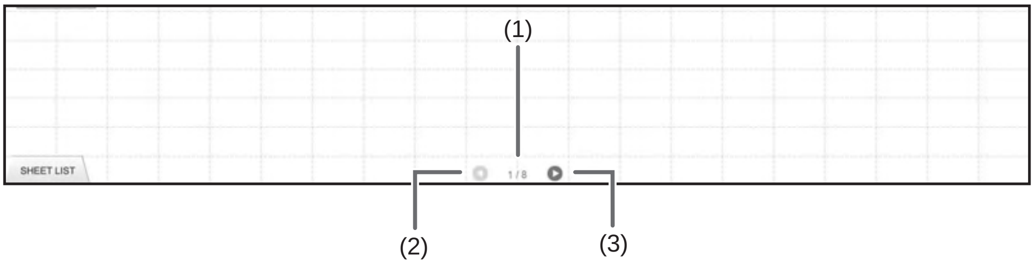
Cette fonction effectue automatiquement une sauvegarde de secours du fichier de tableau blanc aux intervalles spécifiés.
(Il est impossible d’utiliser la sauvegarde de secours automatique des données en mode superposition.)
Vous pouvez changer l’état d’activation/désactivation de la sauvegarde de secours automatique et le temps de l’intervalle des sauvegardes de secours. (Page 20)

Ouverture du fichier de tableau blanc

Lorsque le mode de tableau blanc démarre, un nouveau fichier de tableau blanc s’ouvre. (Si vous démarrez le logiciel en touchant directement un fichier de tableau blanc, le fichier de tableau blanc s’ouvre.)
Pour ouvrir un fichier de tableau blanc sauvegardé, touchez la touche “Open” et sélectionnez le fichier. (Si les données en cours d’édition ne sont pas sauvegardées, la boîte de dialogue de confirmation de sauvegarde de fichier apparaît.)

Changement de la feuille à éditer (mode tableau blanc)

En mode tableau blanc, chaque écran apparaît sur une feuille.
Pour changer la feuille, touchez la touche de navigation des feuilles située en bas de l'écran. Le numéro indiqué au centre est le n° de page de la feuille actuelle.



(1) N° de page de la feuille actuelle

(2) Touche de navigation des feuilles (Précédente)

Touchez cette touche pour faire apparaître la feuille précédente. Lorsque la première feuille est affichée, cette touche est désactivée.

(3) Touche de navigation des feuilles (Suivante)

Touchez cette touche pour faire apparaître la feuille suivante. Lorsque la dernière feuille est affichée, cette touche est désactivée.

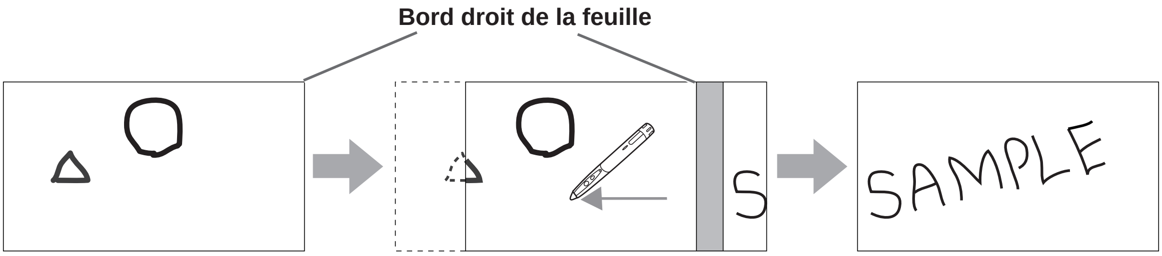
■ Changement de la feuille en faisant glisser l'écran

Vous pouvez changer une feuille en effectuant un glisser lorsque le zoom (pourcentage d'agrandissement) est à 100%.

1. Touchez la touche "Pan" **.**

2. Faites glisser horizontalement avec le stylet.

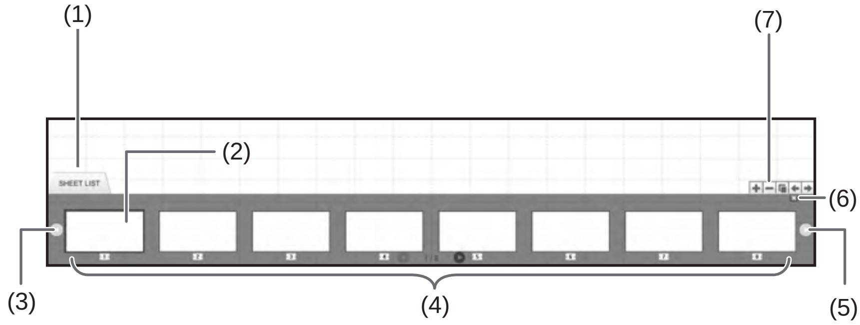
- Faites glisser vers la droite pour faire apparaître la feuille précédente.
- Faites glisser vers la gauche pour faire apparaître la feuille suivante.



■ Changement de la feuille en se référant aux vignettes / Édition de la feuille

Les vignettes de chaque feuille apparaissent dans “SHEET LIST” dans le coin inférieur gauche de l’écran. Vous pouvez toucher une vignette pour passer à cette feuille. Vous pouvez éditer les feuilles, y compris les ajouter, les supprimer, les copier et les déplacer.

1. **Touchez “SHEET LIST” dans le coin inférieur gauche de l’écran.**
   La liste des vignettes des feuilles apparaît.
2. **Touchez la vignette de la feuille que vous voulez afficher.**
   L’écran passe à la feuille sélectionnée.



(1) SHEET LIST

(2) Feuille sélectionnée actuellement

(3) Touche de navigation des vignettes (Précédente)

(4) Vignettes

(5) Touche de navigation des vignettes (Suivante)

(6) Touchez cette touche pour fermer la liste des feuilles.

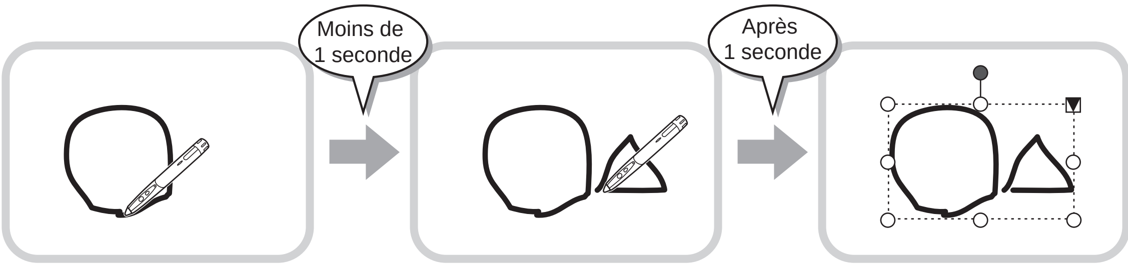
(7) [+]: Ajoutez une nouvelle feuille à droite de la feuille sélectionnée.
[−]: Supprimez la feuille sélectionnée.
[copier]: Copiez la feuille sélectionnée et insérez-la à droite de la feuille sélectionnée.
[←]: Déplacez la feuille sélectionnée d’une position vers la gauche.
[→]: Déplacez la feuille sélectionnée d’une position vers la droite.

Dessin avec un stylet

1. Touchez n'importe laquelle des touches "Pen 1" à "Pen 3" **.**

2. Dessinez sur le tableau.

La forme dessinée sera déterminée comme étant un objet une seconde* après que vous avez élevé le stylet du tableau. Si vous commencez à dessiner un autre objet dans l'intervalle d'une seconde* après avoir élevé le stylet du tableau, les formes dessinées seront déterminées comme étant un objet unique, même si elles sont séparées.
* Vous pouvez changer la durée de cet intervalle. (Page 20)



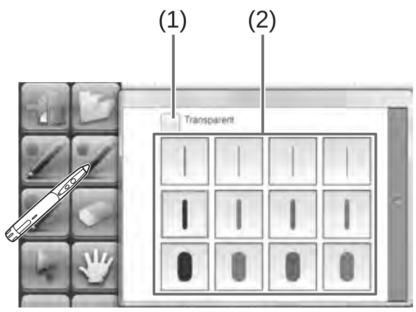
Dessiner une forme. | Dessiner une autre forme. | Les deux formes sont déterminées comme étant un objet unique.

Conseils

- Vous pouvez commuter entre "Pen 1" à "Pen 3" et "Eraser" en exerçant des pressions répétées sur la touche de fonction 2 du stylet.
  Pour changer les fonctions en utilisant la touche de fonction 2, sélectionnez le pilote d'écran tactile "Properties", puis réglez "Function Button 2" sur "Pen Software Link" dans l'onglet "OPERATION SETTING".
- Pour plus de détails concernant les objets, reportez-vous à la page 12.
- Dans certains cas, par exemple lorsque vous touchez une touche de la barre d'outils, la forme dessinée sera fixée comme un objet avant que le temps spécifié ne se soit écoulé après que vous avez élevé le stylet au-dessus du tableau.

■ Changement de la couleur et de l'épaisseur du stylet

Vous pouvez utiliser les palettes "Pen 1" à "Pen 3" pour changer les réglages des fonctions de stylets.
Pour faire apparaître la palette, touchez à nouveau la touche du stylet sélectionné.



(1) Cochez cette case pour rendre la ligne translucide.
L'icône de stylet change lorsque ce réglage est activé.

Normal **Translucide**



(2) Réglez la couleur et l'épaisseur de la ligne.
La palette est fermée.

Conseils

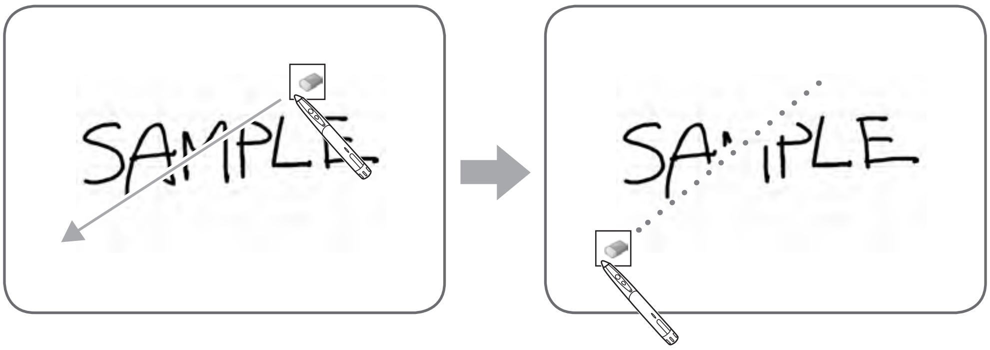
- Vous pouvez changer la méthode de fermeture de la palette. (Page 20)

Effacement d’une ligne dessinée

1. Touchez la touche “Eraser” .

2. En laissant le stylet en contact avec l’écran, déplacez le stylet.

La partie par-dessus laquelle vous effectuez le déplacement est effacée.



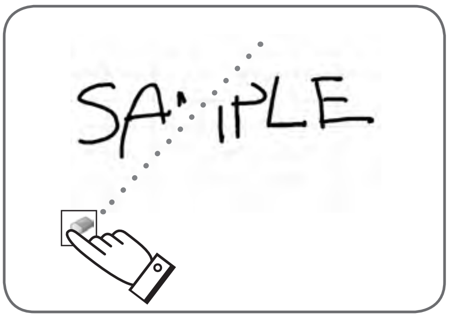
Conseils

- Vous pouvez commuter entre “Pen 1” à “Pen 3” et “Eraser” en exerçant des pressions répétées sur la touche de fonction 2 du stylet.
  Pour changer les fonctions en utilisant la touche de fonction 2, sélectionnez le pilote d’écran tactile “Properties”, puis réglez “Function Button 2” sur “Pen Software Link” dans l’onglet “OPERATION SETTING”.
- La fonction de gomme ne peut effacer que les objets dessinés avec la fonction de stylet. Il est impossible d’utiliser la touche “Eraser” pour effacer les images collées. Il est aussi impossible de l’utiliser pour effacer les bords d’une ligne pour rendre cette ligne plus fine. Même si vous effacez les bords seulement, toute la largeur de la ligne sera effacée.
- Il est impossible d’effacer un objet dessiné avec la fonction de stylet si cet objet fait partie d’un groupe.
- Lorsque “Auto Pen/Eraser Mode Switching” est activé (page 20), vous pouvez effacer avec la gomme ou avec le doigt lorsque l’un des éléments “Pen 1” à “Pen 3” ou “Eraser” est sélectionné. Touchez l’écran avec la gomme ou avec le doigt, et une fois que le curseur s’est changé en gomme, déplacez la gomme ou le doigt. Vous pouvez régler la taille de la gomme pour l’effacement avec la gomme ou avec le doigt, à la zone touchée de l’écran ou à la taille sélectionnée sur la palette.

Lorsque “The area you touch (or cover)” est sélectionné



Lorsque “The selected size in Eraser Palette” est sélectionné



- Avec Windows Vista/7, l’affichage change comme suit lorsque la touche “Eraser” est sélectionnée en mode superposition. L’affichage revient à son état normal lorsque vous sélectionnez une fonction autre que celle de la touche “Eraser”.
  - L’écran d’arrière-plan de l’ordinateur est masqué même par des objets translucides.
  - Un objet est entouré d’une ligne blanche.

■ Changement de la taille de la gomme

Vous pouvez changer la taille de la gomme en la sélectionnant depuis la palette de la touche “Eraser”.
Pour faire apparaître la palette, touchez à nouveau la touche “Eraser” pendant qu’elle est à l’état sélectionné.



Conseils

- Vous pouvez changer la méthode de fermeture de la palette. (Page 20)

Édition d’un objet

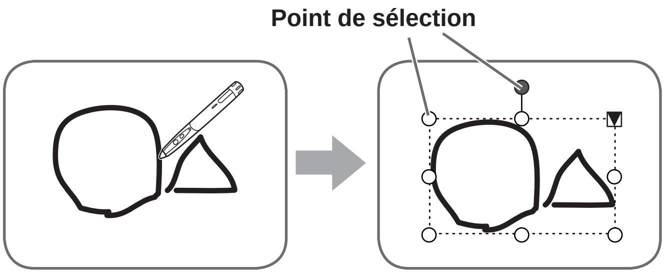
Les lignes dessinées et les images collées sur le tableau sont traitées dans le logiciel comme un “objet”.

■ Sélection d’un objet

Vous devez sélectionner un objet avant de l’éditer.

1. **Touchez la touche “Select” .**
2. **Touchez un objet.**

   L’objet est sélectionné.



Touchez un objet.

Touchez une zone contenant un dessin. Il est impossible de sélectionner un objet en touchant une zone qui ne contient aucun dessin.

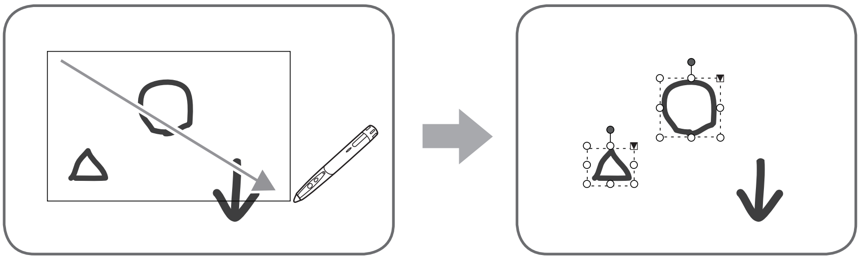
Objet sélectionné

La zone de l’objet est indiquée par une ligne en pointillés, et des symboles appelés points de sélection apparaissent sur les sommets et sur les côtés de la zone.

Lorsque vous sélectionnez un objet puis touchez ▼, le menu d’extension apparaît pour vous permettre d’effectuer les opérations d’édition suivantes:

- Cut <Couper>
- Copy <Copier>
- Paste <Coller>
- Delete <Supprimer>
- Rotate <Tourner>
- Order <Ordre>
- Cancel selection <Annuler la sélection>
- Group <Grouper>
- Ungroup <Dégrouper>
- Property <Propriété>

En spécifiant une zone par glisser, vous pouvez sélectionner plusieurs objets à l’intérieur de la zone. (Les objets qui ne sont pas contenus entièrement dans la zone ne sont pas sélectionnés.)



■ Groupage d’objets

Vous pouvez éditer plusieurs objets sélectionnés comme un seul objet.

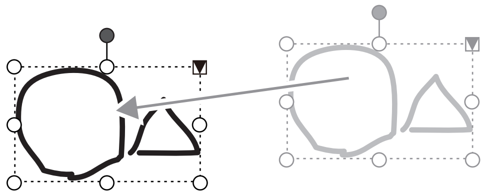
1. **Sélectionnez les objets à grouper.**
2. **Sélectionnez “Group” dans le menu d’extension.**

Annulation du groupage

1. **Sélectionnez les objets groupés.**
2. **Sélectionnez “Ungroup” dans le menu d’extension.**

■ Déplacement d'un objet

Vous pouvez déplacer un objet en sélectionnant et en faisant glisser cet objet.

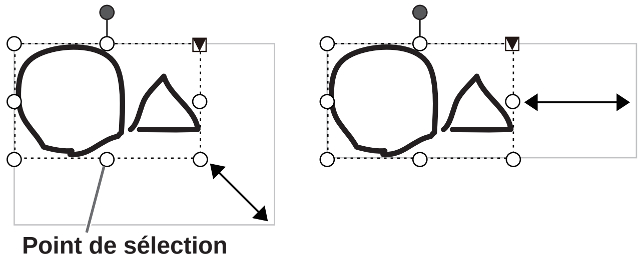


■ Agrandissement/réduction d'un objet

1. Sélectionnez un objet.

2. Faites glisser le point de sélection.

- Si vous faites glisser le point de sélection situé au sommet, l'objet sera agrandi/réduit avec le même rapport d'aspect.
- Si vous faites glisser le point de sélection situé sur le côté, l'objet sera agrandi/réduit dans le sens de la largeur ou bien de la hauteur.
- La largeur de la ligne reste identique après que l'objet a été agrandi/réduit.

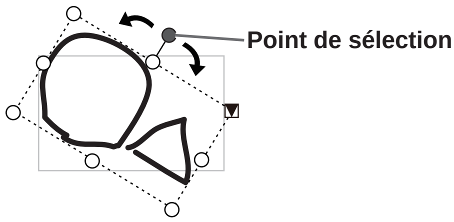


■ Rotation d'un objet

1. Sélectionnez un objet.

2. Faites glisser le point de sélection situé en haut au centre.

Ou encore, sélectionnez "Rotate Right", "Rotate Left" ou "Rotate 180 degrees" depuis "Rotate" dans le menu d'extension.



■ Copie d'un objet

Vous pouvez copier un objet sur le presse-papiers.

1. Sélectionnez un objet.

2. Sélectionnez "Copy" dans le menu d'extension.

■ Couper d'un objet

Vous pouvez couper un objet et le sauvegarder sur le presse-papiers.

1. Sélectionnez un objet.

2. Sélectionnez "Cut" dans le menu d'extension.

■ Coller d'un objet

Pour coller l'objet dans le presse-papiers, sélectionnez "Paste" dans le menu d'extension.

■ Changement de l’ordre des objets

Vous pouvez changer l’ordre de position des objets.

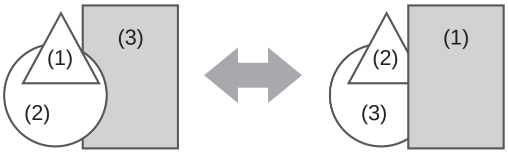
1. Sélectionnez un objet.

2. Sélectionnez la position des objets depuis “Order” dans le menu d’extension.

- Bring to Front : L’objet est déplacé vers l’avant.
- Send to Back : L’objet est déplacé vers l’arrière.
- Bring forward : L’objet est déplacé d’une position vers l’avant.
- Send backward : L’objet est déplacé d’une position vers l’arrière.

Ordre de position des objets

Lorsque plusieurs objets se chevauchent, les objets situés à l’arrière sont masqués derrière les objets situés à l’avant. Pour faire apparaître la partie masquée, changez l’ordre de position des objets.



(1) Objet placé à l’avant des autres objets
(2) Objet placé en deuxième position par rapport à l’objet placé à l’avant
(3) Objet placé à l’arrière des autres objets

Défaire/refaire l’opération

Si vous touchez la touche “Undo” , l’opération de dessin ou d’édition précédente sera annulée.

Si vous touchez la touche “Redo” , l’opération annulée avec la touche “Undo” sera à nouveau effectuée.

Conseils

- Il est possible de défaire 50 actions au maximum.

Suppression d’un objet

1. Sélectionnez un objet.

2. Sélectionnez “Delete” dans le menu d’extension.

L’objet sélectionné disparaît.

Agrandissement de la vue de l'écran

Les étapes à effectuer pour agrandir la vue de l'écran sont différentes selon le mode utilisé.

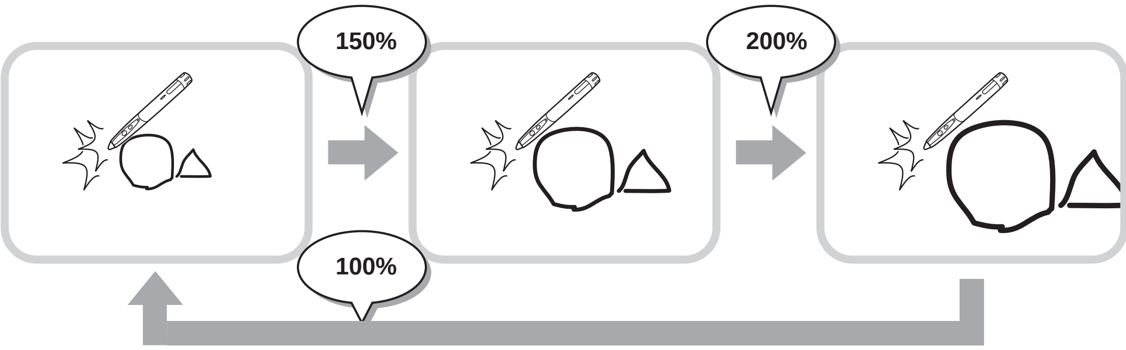
■ Agrandissement de l'écran en mode tableau blanc

Cliquez deux fois pour agrandir l'écran

1. Touchez la touche "Pan" .

2. Touchez deux fois en succession rapide (cliquez deux fois) la partie du tableau que vous voulez agrandir.

À chaque double clic, la vue change dans l'ordre 100% > 150% > 200%, centrée sur la position du clic.
Si vous cliquez deux fois à 200%, la vue revient à 100%.

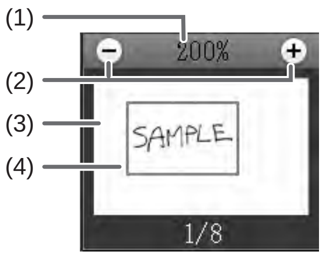


Changement de la position d'affichage lorsque la vue est agrandie

Pour changer la position d'affichage, faites glisser sur l'écran avec "Pan" sélectionné.

Agrandissement de la vue de l'écran avec la fenêtre de pan

Une vignette de la feuille actuelle apparaît dans la fenêtre de pan de la barre d'outils.



(1) Grossissement

Indique le grossissement de l'écran actuel.

(2) [-] [+]

Touchez pour agrandir ou réduire la vue entre 100% et 400% par pas de 50%.

(3) Fenêtre de pan

Fait apparaître une vignette de la feuille actuelle. Cliquez deux fois pour changer la vue dans l'ordre 100% > 150% > 200%, centrée sur la position du double clic.

(4) Cadre d'affichage

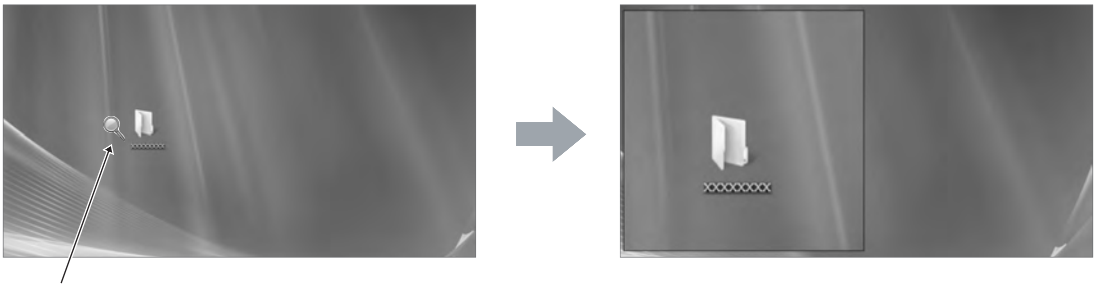
Indique la zone qui est affichée sur l'écran. Pour déplacer la zone affichée, faites glisser le cadre d'affichage.

■ Agrandissement de l’écran en mode superposition

Vous pouvez agrandir une partie de l’écran et l’afficher.

1. **Touchez la touche “Zoom In” .**
2. **Touchez le tableau.**

   La zone environnant le point touché est agrandie et affichée.



Touchez le point à agrandir.

La zone environnant le point touché est agrandie.

Importation d’un document sous forme d’image (pilote d’imprimante de Pen Software)

Il est possible de convertir un document de n’importe quelle application en image et de l’afficher sur le tableau blanc.
Le document est importé sous forme d’une image identique à une image imprimée par une imprimante.

■ Dans l’application logicielle

1. **Dans l’application logicielle, ouvrez le document que vous voulez importer.**
2. **Sélectionnez la commande d’impression et ouvrez l’écran des réglages d’impression.**
   Pour plus de détails, reportez-vous au manuel de l’application logicielle.
3. **Faites passer l’imprimante à “Send print data to SHARP Pen Software”, puis sélectionnez les réglages d’impression.**
   - Vous pouvez sélectionner “Paper Size”, “Orientation” et “Resolution”.
   - Une fois les réglages sélectionnés, touchez “OK”.
4. **Exécutez l’impression.**
   Le document imprimé sera converti en image et envoyé au Pen Software.

■ Dans le Pen Software (mode tableau blanc)

Une fois l’image envoyée, “Receive the printed or scanned images” se met à clignoter.

5. **Touchez la touche “Receive the printed or scanned images” .**
   La première feuille de l’image acquise apparaît.

Conseils

- Il pourra être impossible de convertir correctement des documents provenant de certaines applications logicielles.
- Le paramètre “Resolution” du pilote d’imprimante de Pen Software doit être réglé normalement à 120 dpi. S’il est réglé à une valeur plus grande, les opérations telles que l’agrandissement, la réduction et le défilement des feuilles risqueront de ne pas être effectuées bien régulièrement.

Acquisition d’une image à partir d’une machine multifonctions

Si une machine multifonctions SHARP est connectée au même réseau que l’ordinateur sur lequel le Pen Software est installé, il est possible d’acquérir sur le tableau blanc une image numérisée sur la machine multifonctions.

Conseils

- Prend en charge le Network Scanner Tool 3.3 ou version supérieure (en date d’août 2010).
- Pour plus de détails, contactez votre revendeur ou le centre de service après-vente agréé le plus proche pour la machine multifonctions.
- Pour les procédures d’utilisation de la machine multifonctions, reportez-vous au manuel de la machine multifonctions.

Utilisation du Network Scanner Tool pour acquérir une image

Quand vous utilisez le Network Scanner Tool pour la première fois, installez le Network Scanner Tool sur l’ordinateur dans lequel le Pen Software a été installé, et configurez les réglages de Network Scanner Tool. (Page 23)
Pour acquérir une image d’une machine multifonctions, il faut que le Network Scanner Tool soit en cours de fonctionnement sur votre ordinateur.
Utilisez JPEG comme format d’envoi de numérisation.

■ Dans la machine multifonctions

1. Placez le document dans la machine multifonctions.

2. Sélectionnez une destination mémorisée dans le Network Scanner Tool.

3. Sélectionnez JPEG comme format d’envoi de numérisation.

4. Exécutez la numérisation.

Le document sera numérisé et envoyé au Pen Software.

■ Dans le Pen Software (mode tableau blanc)

Une fois l’image envoyée, “Receive the printed or scanned images”  se met à clignoter.

5. Touchez la touche “Receive the printed or scanned images” .

La première feuille de l’image acquise apparaît.

Impression

Pour imprimer seulement la feuille affichée actuellement, touchez la touche “Print Current Sheet” .
Pour imprimer toutes les feuilles sur le tableau blanc, touchez la touche “Print All” . (Mode tableau blanc seulement)
Mémorisez les réglages d’impression à l’avance.

Conseils

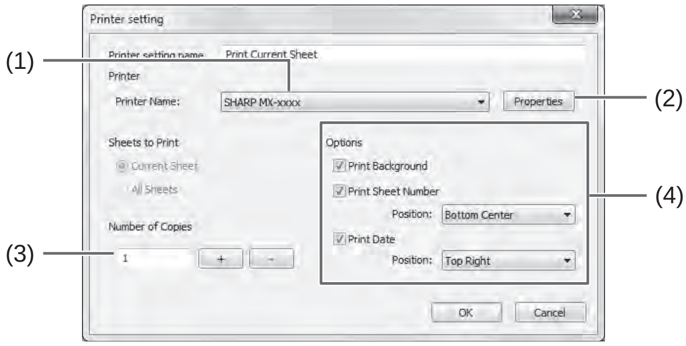
- Les outils d’utilisation du logiciel, tels que les barres d’outils et les onglets, ne seront pas imprimés.
- En mode tableau blanc, une feuille sans données ne sera pas imprimée.

■ Enregistrement des réglages d’impression

1. Dans la boîte de dialogue “Settings” (page 20), touchez “Print Current Sheet” ou “Print All”.

2. Spécifiez les réglages d’impression. (Voir ci-dessous.)

3. Une fois les réglages accomplis, touchez “OK”.



(1) Printer Name

Sélectionnez l’imprimante à utiliser pour l’impression.

(2) Properties

Réglez les détails de l’imprimante. Les options de réglage dépendent de l’imprimante utilisée. Pour les options de réglage, reportez-vous au mode d’emploi de l’imprimante.

(3) Number of Copies

Spécifiez le nombre de copies à imprimer.

(4) Options

- Print Background : Sélectionnez ceci pour imprimer la couleur réglée pour l’arrière-plan du tableau blanc. (Seulement en mode tableau blanc)
- Print Sheet Number : Sélectionnez ceci pour imprimer les numéros de pages, et sélectionnez la “Position”. (Seulement en mode tableau blanc)
- Print Date : Sélectionnez ceci pour imprimer la date d’impression, et sélectionnez la “Position”.

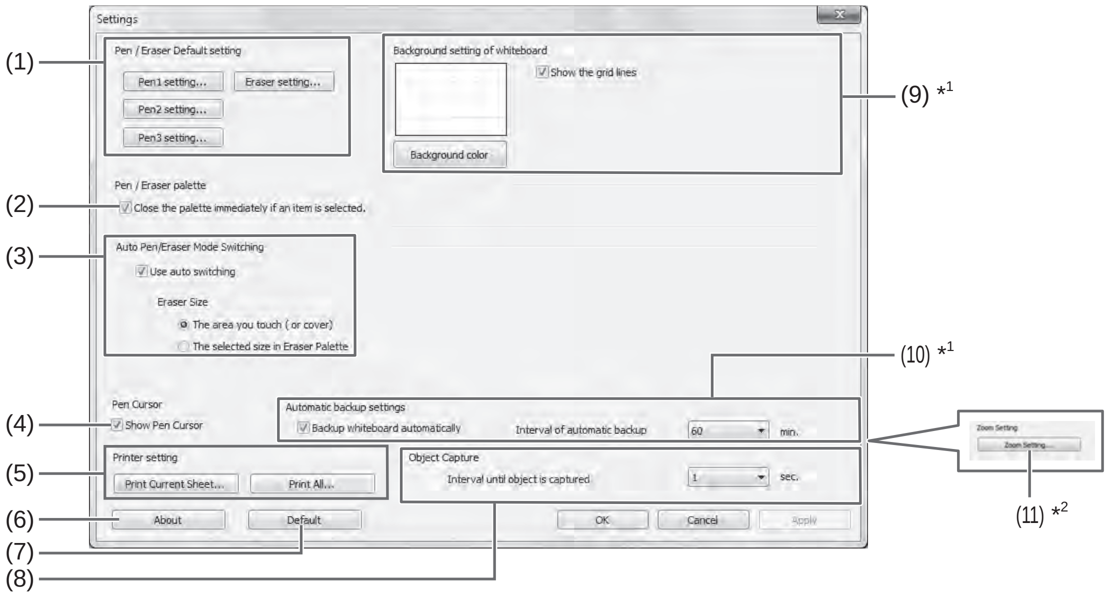
Conseils

- “Sheets to Print” ne peut pas être changé.

Personnalisation des réglages

Vous pouvez personnaliser plusieurs réglages de ce logiciel.
Les réglages sont identiques en mode tableau blanc et en mode superposition. Toutefois, le contenu de l'écran variera selon le mode que vous démarrez.

1. **Touchez la touche "Settings of SHARP Pen Software" .**
2. **Réglez les options nécessaires. (Voir ci-dessous.)**
3. **Une fois les réglages accomplis, touchez "OK".**



*1 Apparaît seulement en mode tableau blanc.
*2 Apparaît seulement en mode superposition.

(1) Pen/Eraser Default setting

Réglez la couleur et l'épaisseur initiales de "Pen 1" à "Pen 3", et la taille initiale de "Eraser".

(2) Pen/Eraser palette

Sélectionnez ceci pour que les palettes de "Pen 1" à "Pen 3" et "Eraser" se ferment lorsqu'un modèle est sélectionné à partir d'une palette.
Si vous supprimez la coche, vous devez cliquer sur pour fermer la palette.

(3) Auto Pen/Eraser Mode Switching

Use auto switching
Pour utiliser cette fonction, sélectionnez ceci pour faire passer le stylet automatiquement à la gomme lorsque vous touchez l'écran avec la gomme ou avec le doigt en mode stylet. Réglez la taille de gomme qui est appliquée dans "Eraser Size".

- The area you touch (or cover) : Lorsque vous utilisez une gomme ou un autre objet et que la zone de contact sur l'écran est d'au moins 4 cm x 4 cm, effacez la zone de contact.
- The selected size in Eraser Palette : Effacez avec la gomme sélectionnée quelque soit la quantité de contact sur l'écran.

IMPORTANT

- Pour utiliser cette fonction, sélectionnez les "Properties" du pilote d'écran tactile, et configurez les réglages sur l'onglet "OPERATION SETTING" comme indiqué ci-dessous. Pour plus de détails concernant le pilote d'écran tactile, reportez-vous au Mode d'emploi du pilote d'écran tactile.
  - Réglez "Input Mode Setting" à "Standard". Si vous établissez un réglage autre que "Standard", il sera impossible d'utiliser la fonction de commutation automatique de stylet/gomme.
  - Si vous avez sélectionné "The area you touch (or cover)", réglez "Detect Eraser Area" à "Enable".

(4) Pen Cursor

Réglez si un curseur apparaît ou non lorsque vous dessinez avec la fonction de stylet.

(5) Printer setting

Enregistrez les réglages pour l'impression. (Page 19)

(6) About

Les informations sur la version de ce logiciel sont affichées.

(7) Default

Remettez les réglages à leurs valeurs initiales.

(8) Interval until object is captured

Réglez l'intervalle de temps au bout duquel une ligne dessinée à la main sera déterminée comme étant un objet.

(9) Background setting of whiteboard

- Preview : L'image du tableau blanc avec le réglage actuel est affichée.
- Background color : Réglez la couleur de l'arrière-plan du tableau blanc.
- Show the grid lines : Sélectionnez pour faire apparaître la grille sur le tableau blanc.

(10) Automatic backup settings

Spécifiez si la sauvegarde de secours des données est effectuée automatiquement ou non en mode tableau blanc.
Pour utiliser la sauvegarde de secours automatique, spécifiez l'intervalle.

(11) Zoom Setting

Spécifiez la taille et le grossissement de l'affichage du zoom.

Installation/désinstallation du logiciel

Pour pouvoir effectuer les opérations décrites dans cette section, vous devez avoir les privilèges d'administrateur.

Installation du Pen Software

■ Installation de .NET Framework 2.0 ou version plus récente

.NET Framework 2.0 ou version plus récente doit être installé sur l'ordinateur dans lequel le Pen Software sera utilisé.
Téléchargez et installez .NET Framework depuis le site Web de Microsoft.

■ Installation du Pen Software

1. **Quittez toutes les applications logicielles en cours d'exécution.**
2. **Insérez le CD-ROM fourni dans le lecteur de CD-ROM de l'ordinateur.**
3. **Cliquez deux fois sur le programme d'installation.**
    - Système d'exploitation 32 bits: \PenSoftware\eng\setup.exe
    - Système d'exploitation 64 bits: \PenSoftware\eng_x64\setup_x64.exe
4. **Pour le reste de la procédure, suivez les instructions affichées sur l'écran.**
    - Lorsque la boîte de dialogue "Contrôle de compte d'utilisateur" apparaît, cliquez sur "Oui" (ou sur "Autoriser").
    - Lorsqu'un écran d'avertissement de sécurité (Impossible de vérifier l'éditeur.) apparaît, cliquez sur "Autoriser".

Une fois l'installation terminée, les icônes de raccourci du mode tableau blanc () et du mode superposition () seront créées sur le bureau.
Le pilote d'imprimante de Pen Software sera aussi ajouté. (Page 17)

■ Désinstallation

1. **Quittez toutes les applications logicielles en cours d'exécution.**
2. **Cliquez sur la touche "Démarrer" et sélectionnez "Panneau de configuration".**
3. **Cliquez sur "Désinstaller un programme".**
    - Si vous utilisez un affichage par icônes (Affichage classique), cliquez deux fois sur "Programmes et fonctionnalités".
    - Si vous utilisez Windows XP, cliquez sur "Ajouter ou supprimer des programmes". (Dans l'affichage classique, cliquez deux fois sur "Ajouter ou supprimer des programmes".)
4. **Sélectionnez "SHARP Pen Software" et cliquez sur "Désinstaller".**
    - Si vous utilisez Windows XP, cliquez sur "Supprimer".
5. **Pour le reste de la procédure, suivez les instructions affichées sur l'écran.**
    - Lorsque la boîte de dialogue "Contrôle de compte d'utilisateur" apparaît, cliquez sur "Continuer".

Les opérations de désinstallation sont alors terminées.

Installation du Network Scanner Tool

Le Network Scanner Tool est utilisé pour acquérir une image d'une machine multifonctions SHARP connectée au même réseau.

■ Installation du Network Scanner Tool

Le Network Scanner Tool n'est pas inclus dans le CD-ROM fourni. Utilisez le Network Scanner Tool (Version 3.3 ou version plus récente) fourni avec la machine multifonctions. (S'il est déjà installé, il est inutile de le réinstaller.)
Pour plus de détails concernant l'installation et l'utilisation du Network Scanner Tool, reportez-vous au guide de l'utilisateur de Network Scanner Tool. Pour toute question concernant la compatibilité de votre machine multifonctions ou du Network Scanner Tool, contactez votre revendeur ou un centre de service après-vente agréé.

■ Configuration des réglages de Network Scanner Tool

Le dossier qui sera utilisé pour acquérir les images numérisées depuis la machine multifonctions doit être mémorisé comme destination dans le carnet d'adresses de la machine multifonctions. Lorsque vous créez un profil, sélectionnez "Move File to Folder" et établissez le dossier (ci-dessous) à utiliser pour acquérir les images dans "Details".

- Windows Vista/7:
  Lecteur de démarrage initial: \ProgramData\SHARP\PenSoftware\JPEG
- Windows XP:
  Lecteur de démarrage initial: \Documents and Settings\All Users\Application Data\SHARP\PenSoftware\JPEG

■ Désinstallation

Quittez le Network Scanner Tool depuis la barre des tâches, ouvrez l'écran de désinstallation comme expliqué à la page 22, et supprimez "Network Scanner Tool" (ou "Sharpdesk").

Índice

Introducción

Este software fue desarrollado para permitir que las reuniones y presentaciones sean más efectivas.

- Se puede escribir letras directamente de manera que la pantalla de la computadora se pueda usar como una pizarra.
- Cualquier documento se puede convertir en una imagen y se puede importar para exhibir.
- Se puede capturar una imagen de una máquina multifunción para exhibir.
- Los contenidos editados se pueden imprimir o guardar.

Este software se usa para el PN-L601B.

Información importante

- Este software salió de fábrica luego de un estricto control de calidad e inspección de producto. Sin embargo, si encuentra una falla o un malfuncionamiento, consulte al vendedor del producto.
- Comprenda que SHARP CORPORATION no tiene responsabilidad alguna sobre los errores cometidos durante el uso por el cliente o un tercero, ni por ningún otro malfuncionamiento o daños a este software resultante del uso excepto donde la ley reconozca una responsabilidad de indemnización.
- La transcripción o duplicación de parte o todo este manual y/o este software sin el permiso de nuestra compañía no está permitido.
- Como parte de nuestra política de mejoramiento continuo, SHARP se reserva el derecho de realizar cambios en el diseño y las especificación del producto por mejoras sin previo aviso. Los números de las especificaciones indican los valores nominales de las unidades de producción. En unidades individuales pueden existir algunas desviaciones de estos valores.
- Este software usa tecnología ImageKit7. ImageKit7 Copyright © 2005 Newtone Corp.
- Los contenidos o detalles pueden variar dependiendo de la configuración en la pantalla o la versión del sistema operativo, etc.
- Sólo se suministra la versión en inglés de este software. Las pantallas que se muestran en el manual son las pantallas que aparecen en el sistema operativo en inglés.
- Este manual no contiene instrucciones de funcionamiento básico de Windows.
- Las rutas usadas en este manual asumen que este software fue instalado en la carpeta predeterminada. La ruta real puede variar dependiendo de la carpeta especificada durante la instalación.

Marcas registradas

- Microsoft, Windows, y Windows Vista son marcas registradas o marcas comerciales de Microsoft Corporation en los Estados Unidos de América y/u otros países.
- Los nombres de productos y otros nombres propios son marcas registradas o marcas comerciales de los respectivos propietarios de sus derechos.

Iniciando y saliendo del software

Modos Pen Software y como iniciar los modos

CONSEJOS

- No es posible usar una pantalla secundaria.
- No se puede iniciar el modo de pizarra y el modo superposición a la misma vez.
  Para cambiar los modos, salga del modo actual e inicie el otro modo.
- Para evitar que la barra de tareas de Windows se mueva, bloquéela.

■ Modo de Pizarra

Puede usar la pantalla como una pizarra.
Se exhibe el área de trabajo para cada “sheet (hoja)”. Cambiando la hoja, puede editar los datos en otra pantalla.



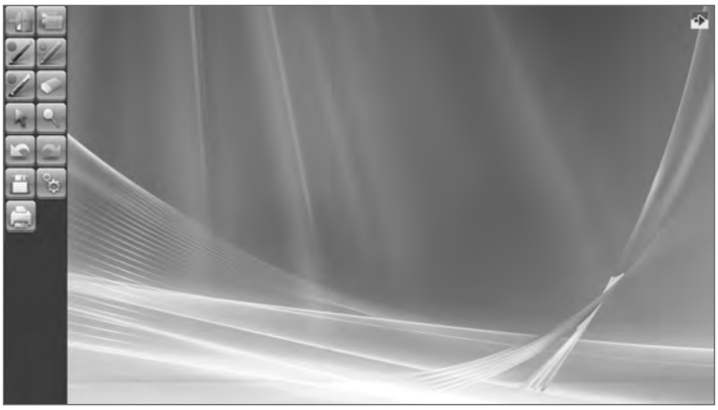
Inicio de modo de pizarra

Siga los pasos a continuación para iniciar el software.

- En el escritorio, toque rápido dos veces el ícono de acceso directo “SHARP Pen Software” () dos veces (o haga doble clic en el ícono).
- Haga clic en el botón “Iniciar”, y luego seleccione “Todos los programas” - “SHARP Pen Software” - “SHARP Pen Software”.
- Toque rápido dos veces el archivo de pizarra (un archivo guardado en el formato SWS)(o haga doble clic en el archivo).

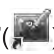
■ Modo Superposición

La pizarra se muestra transparente.
El área de trabajo consiste de una pantalla única.
Su dibujo aparecerá en la pizarra transparente sobre la pantalla, de manera que pueda escribir comentarios directamente en los elementos exhibidos en la pantalla. Tenga en cuenta, sin embargo, que no puede usar la pantalla indicada detrás de la pizarra transparente.



Iniciando el modo superposición

Siga los pasos a continuación para iniciar el software.

- En el escritorio, toque rápido dos veces el ícono de acceso directo “SHARP Pen Software (Overlay mode)”() (o haga doble clic en el ícono).
- Haga clic en el botón “Iniciar”, y luego seleccione “Todos los programas” - “SHARP Pen Software” - “SHARP Pen Software (Overlay mode)”.

Saliendo del software

Toque el botón  “Quit”.

Cuando no haya ningún dato que se esté editando y no se haya guardado

Se sale del software.

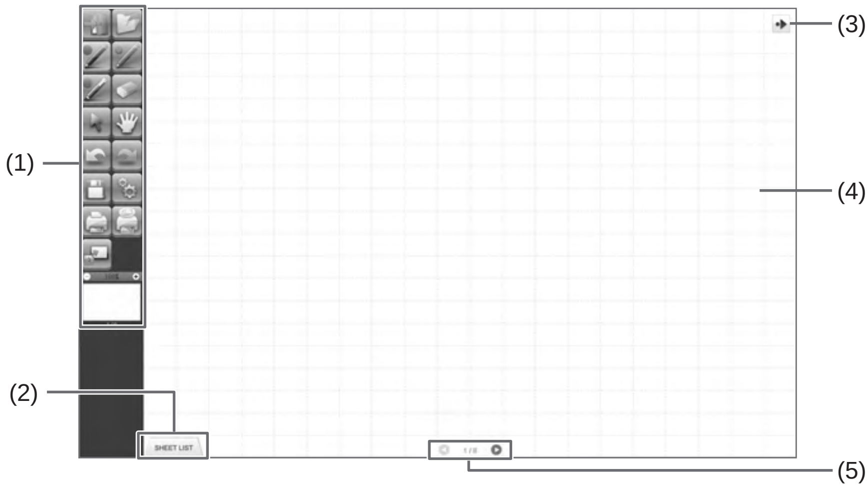
Cuando hay datos que se están editando y no se hayan guardado

Aparece un cuadro de diálogo de confirmación.
Cuando toque “Save and exit”, aparecerá un cuadro de diálogo para permitirle especificar el destino donde guardar los datos.
Confirme el formato a guardar, especifique el destino, y guarde los datos. (Página 7)
Cuando toque “Exit without saving”, se saldrá del software sin guardar los datos.



Disposición de la pantalla básica

Ejemplo de pantalla: Modo de pizarra



(1) Barra de herramientas

Se usa para cambiar de funciones. (Página 6)

(2) SHEET LIST

Se exhibe sólo en el modo de pizarra.
Toque esta lengüeta para exhibir la lista de hojas mostradas como imágenes en miniatura. (Página 8)

(3) Mover ícono de barra de herramientas

Este aparece en el lado opuesto a la barra de herramientas, y se puede tocar para mover la barra de herramientas a ese lado. (El ícono y la barra de herramientas cambiarán de lugares.)

(4) Pizarra

Área de trabajo. Puede escribir, dibujar líneas y pegar imágenes aquí.
Se puede exhibir la pizarra en dos modos: modo de pizarra y modo superposición. El último es transparente, mostrando el fondo.

CONSEJOS

- Se puede cambiar el color de fondo y la grilla que se usan en el modo de pizarra. (Página 20)

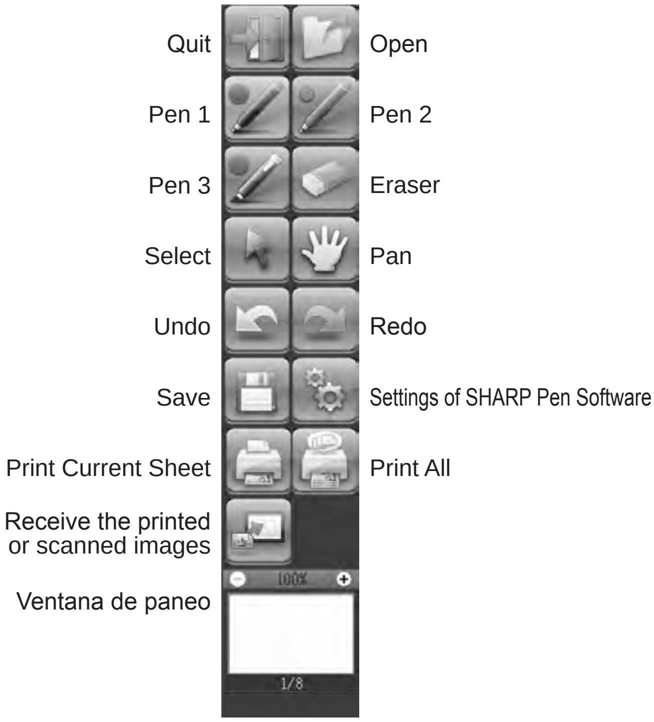
(5) Botones de navegación de hoja/No. de página

Se exhibe sólo en el modo de pizarra.
Toque el botón de navegación de hoja para cambiar la hoja exhibida. (Página 8)
El número mostrado en el centro es el no. de página de la hoja actual.

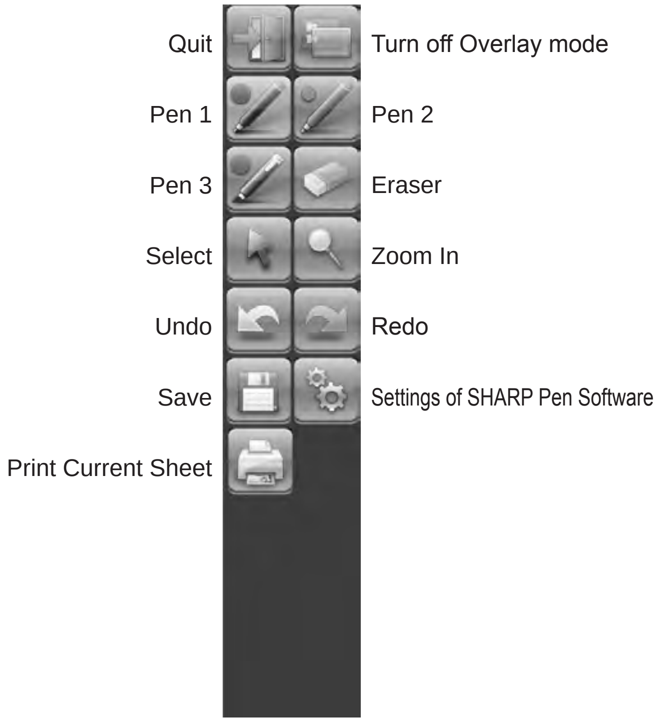
Botones de funciones de barra de herramientas

Las funciones de la barra de herramientas se muestran como botones. Toque un botón para seleccionar la función de ese botón.
Los botones de funciones que aparecen en la barra de herramientas varían dependiendo del modo.

Modo Pizarra



Modo Superposición



Botón	Función	Página
Quit <Salir>	Salir de este software.	4
Open <Abrir>*1	Abrir un archivo de pizarra.	7
Turn off Overlay mode <Desactivar el Modo Superposición>*2	Desactivar el modo superposición. Desactivando temporariamente la función de pizarra, puede usar otra cosa diferente que el software (archivos, otras aplicaciones, etc.).	-
Pens 1 to 3 <Lápiz 1 a 3>	Dibujar líneas.	10
Eraser <Borrador>	Borrar líneas escritas a mano.	11
Select <Seleccionar>	Seleccionar un objeto.	12
Pan <Paneo>*1	Ampliar la vista de la pizarra, cambiar la posición de exhibición, y cambiar las páginas.	8, 15
Zoom In <Zoom>*2	Ampliar parte de la pantalla en el modo superposición.	16
Undo <Deshacer>	Cancelar la operación anterior inmediatamente.	14
Redo <Rehacer>	Rehacer la operación cancelada inmediatamente enseguida.	14
Save <Guardar>	Guardar los datos que están siendo editados.	7
Settings of SHARP Pen Software <Ajustes del Pen Software de SHARP>	Configure este software de acuerdo las preferencias del usuario.	20
Print Current Sheet <Imprimir hoja actual>	Imprimir la hoja exhibida.	19
Print All <Imprimir todos>*1	Imprimir todas las hojas.	19
Receive the printed or scanned images <Recibir la imagen imprimida o escaneada>*1	Pegar en la pizarra un archivo de imagen capturada por el controlador de impresora de Pen Software o una máquina multifunción.	17, 18
Ventana de paneo*1	Esta muestra una imagen en miniatura de la hoja exhibida. Usar dentro de esta ventana para ampliar la vista de la pizarra o mover la posición de exhibición.	15

*1 Aparece sólo en el modo de pizarra.
*2 Aparece sólo en el modo superposición.

Guardando y abriendo un archivo

Guardando datos

Los datos se pueden guardar en los siguientes formatos de archivos:

Formato de archivo	Descripción
Archivo de pizarra	Los datos de la pizarra se guardan en el formato SWS. Los datos guardados se pueden volver a editar con este software.
PDF, BMP, JPEG, PNG	La pantalla de trabajo se guarda como una captura de pantalla. Los datos son convertidos a un formato de archivo diferente de manera que no puedan ser vueltos a editar con el software.

En el modo de pizarra

Los datos se pueden guardar en cualquier de los formatos de archivos anteriores.

Se guardarán todas las hojas. (No se podrá guardar una hoja sin datos.)

Cuando se guardan datos en el formato BMP, JPEG o PNG, cada hoja se guarda como un archivo separado.

En el modo superposición

Los datos se pueden guardar en el formato PDF, BMP, JPEG o PNG.

1. **Toque el botón “Save”.**
2. **Seleccione el formato de archivo de la lista desplegable.**
3. **Especifique el destino y toque “Guardar”.**

■ Respaldo automático

Esta función respalda automáticamente el archivo de pizarra en intervalos especificados.
(El respaldo automático no se puede usar para los datos en el modo superposición.)
Puede cambiar para activar/desactivar el respaldo automático y el tiempo de intervalo de respaldo. (Página 20)

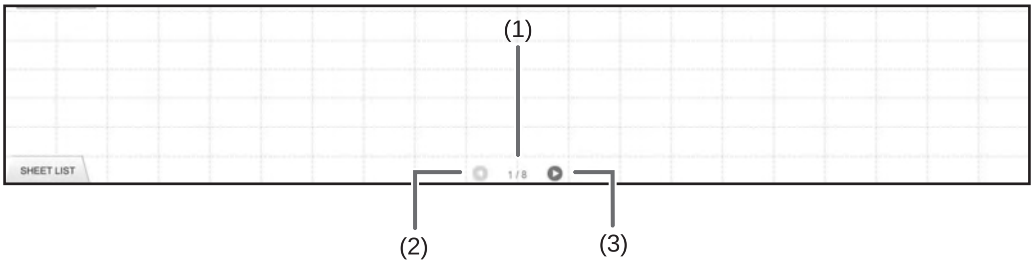
Abriendo el archivo de pizarra

Cuando se inicia el modo de pizarra, se abre un nuevo archivo de pizarra. (Si se inicia el software directamente tocando un archivo de pizarra, el archivo de pizarra se abrirá.)

Para abrir un archivo de pizarra, toque el botón “Open” y seleccione el archivo. (Si no se han guardado los datos que se están editando, aparecerá el cuadro de diálogo de confirmación de guardado de archivo.)

Cambiando la hoja a editar (modo de pizarra)

En el modo de pizarra, cada pantalla se exhibe en una hoja.
Para cambiar la hoja, toque el botón de navegación de hoja en la parte de inferior de la pantalla. El número mostrado en el centro es el no. de página de la hoja actual.



(1) No. de página de hoja actual

(2) Botón de navegación de hoja (Anterior)

Toque este botón para exhibir la hoja anterior. Cuando se exhibe la primera hoja, este botón está desactivado.

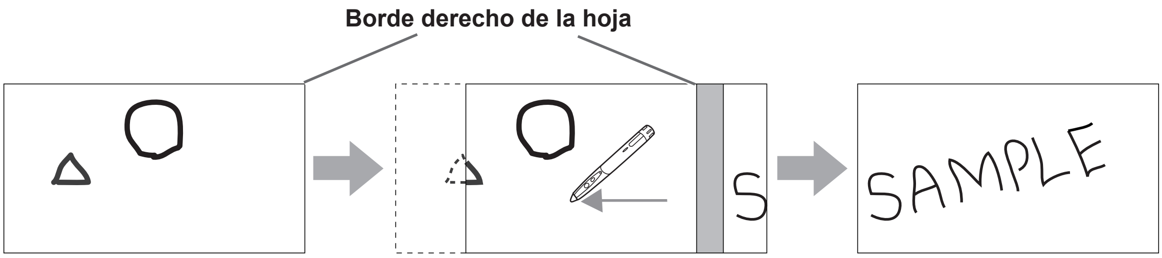
(3) Botón de navegación de hoja (Siguiente)

Toque este botón para exhibir la hoja siguiente. Cuando se exhibe la última hoja, este botón está desactivado.

■ Cambiando la hoja al arrastrar la pantalla

Se puede cambiar una hoja arrastrándola cuando el zoom (porcentaje de ampliación) se 100%.

1. **Toque el botón "Pan".**
2. **Arrástrela horizontalmente con el lápiz sensible al tacto.**
   - Arrastre hacia la derecha para mostrar la hoja anterior.
   - Arrastre hacia la izquierda para mostrar la hoja siguiente.

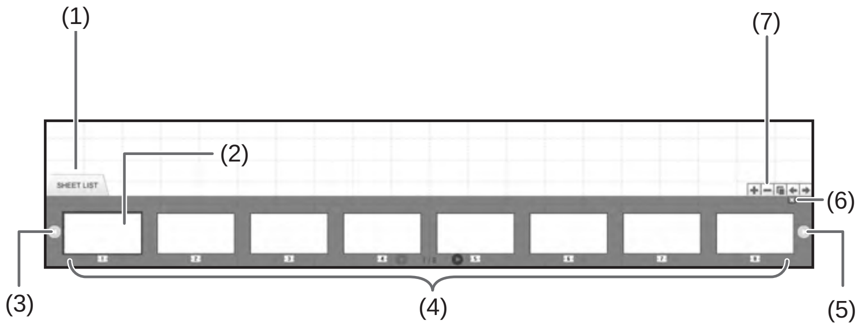


■ Cambiando la hoja consultando las imágenes en miniatura / Editando la hoja

Las imágenes en miniatura de cada hoja aparecen en “SHEET LIST” en la esquina inferior izquierda de la pantalla. Se puede tocar un imagen en miniatura para cambiar a esa hoja. Las hojas se pueden editar, incluyendo agregar, borrar, copiar y mover hojas.

1. **Toque “SHEET LIST” en al esquina inferior izquierda de la pantalla.**
   Se exhibe la lista de imágenes en miniatura de las hojas.

2. **Toque la imagen en miniatura de la hoja que desea exhibir.**
   La pantalla cambia a la hoja seleccionada.



(1) SHEET LIST

(2) Hoja seleccionada actualmente

(3) Botón de navegación de hoja (Anterior)

(4) Imágenes en miniatura

(5) Botón de navegación de hoja (Siguiente)

(6) Toque este botón para cerrar la lista de hojas.

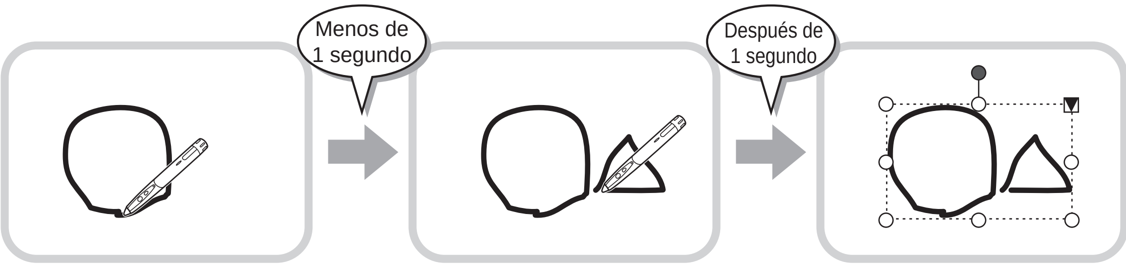
(7) [+]: Agregar una hoja nueva a la derecha de la hoja seleccionada.
[−]: Borrar la hoja seleccionada.
[⧉]: Copiar la hoja seleccionada e insertarla a la derecha de la hoja seleccionada.
[←]: Mover la hoja seleccionada una posición a la izquierda.
[→]: Mover la hoja seleccionada una posición a la derecha.

Dibujando con un lápiz

1. Toque uno de los botones “Pen 1” a “Pen 3”.

2. Dibuje en la pizarra.

La forma dibujada será determinada como un objeto 1 segundo* después que levanta del lápiz sensible al tacto. Si comienza a dibujar otro objeto 1 segundo* después de levantar del lápiz sensible al tacto, las formas dibujadas serán consideradas como un objeto único incluso si están separados.
* Se puede cambiar este período. (Página 20)



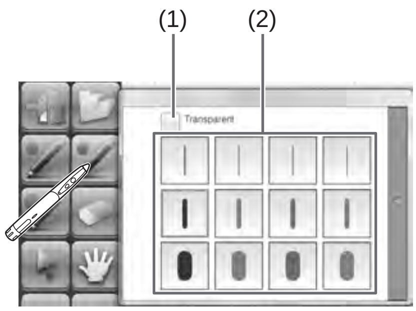
Dibujar una forma. Dibujar otra forma. Ambas formas fueron determinadas como un solo objeto.

CONSEJOS

- Puede cambiar entre “Pen 1” a “Pen 3” y “Eraser” presionando repetidamente el botón de función 2 del lápiz sensible al tacto. Para cambiar las funciones usando el botón de función 2, seleccione “Properties” del controlador del panel sensible al tacto, y ajuste “Function Button 2” a “Pen Software Link” en la lengüeta “OPERATION SETTING”.
- Por detalles acerca de los objetos, consulte la página 12.
- En algunos casos, como cuando se toca un botón en la barra de herramientas, la forma dibujada será considerada un objeto en menos del período especificado después de levantar el lápiz sensible al tacto de la pizarra.

■ Cambiando el color y el grosor del lápiz

Se pueden usar las paletas “Pen 1” a “Pen 3” para cambiar los ajustes de la función de lápiz.
Para exhibir la paleta, toque otra vez el botón del lápiz seleccionado.



(1) Marque esta casilla para hacer que la línea sea translúcida.
El ícono de lápiz cambia cuando se activa este ajuste.

Normal **Translúcido**



(2) Ajuste el color y el grosor de la línea.
La paleta está cerrada.

CONSEJOS

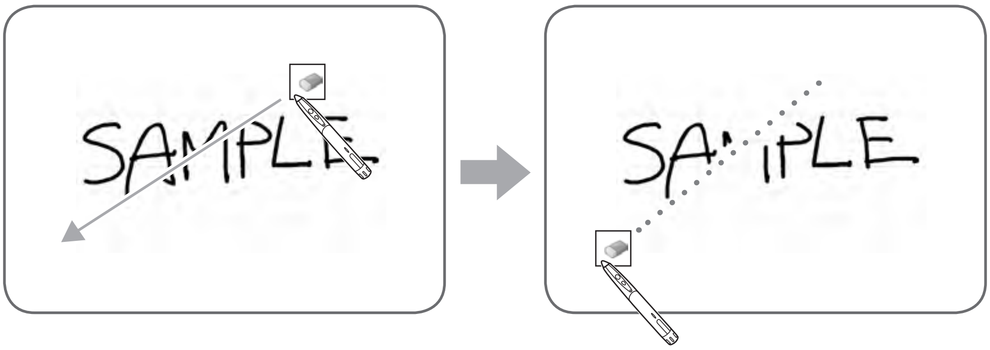
- Se puede cambiar el método para cerrar la paleta. (Página 20)

Borrando una línea dibujada

1. Toque el botón "Eraser".

2. Mueva el lápiz, mientras toca con éste la pantalla.

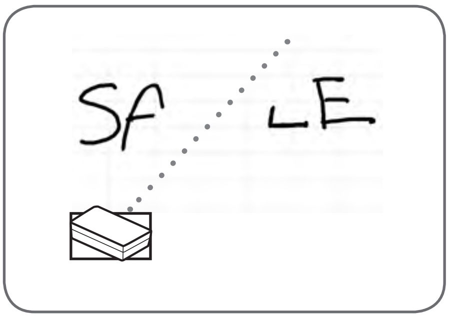
Se borra la parte por encima de la que se mueve.



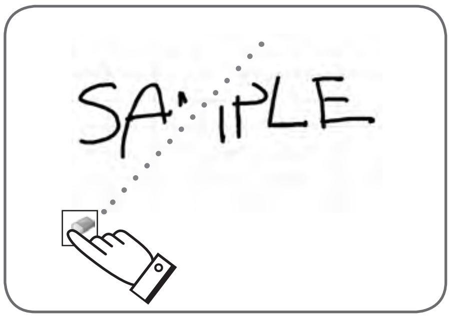
CONSEJOS

- Puede cambiar entre "Pen 1" a "Pen 3" y "Eraser" presionando repetidamente el botón de función 2 del lápiz sensible al tacto.Para cambiar las funciones usando el botón de función 2, seleccione "Properties" del controlador del panel sensible al tacto, y ajuste "Function Button 2" a "Pen Software Link" en la lengüeta "OPERATION SETTING".
- La función del borrador puede borrar sólo objetos dibujados con la función de lápiz. No puede usar el botón "Eraser" para borrar imágenes pegadas. No puede usarla tampoco para borrar los bordes de un línea para hacer la línea más fina. Incluso si borra sólo los bordes, todo el ancho de la línea será borrado.
- Un objeto dibujado con la función de lápiz no se podrá borrar si es parte de un grupo.
- Cuando se activa "Auto Pen/Eraser Mode Switching" (página 20), podrá borrarlo con el borrador o su dedo cuando se selecciona "Pen 1" a "Pen 3" o "Eraser". Toque la pantalla con el borrador o su dedo, y después que el cursor cambiará a borrador, mueva el borrador o su dedo. Puede ajustar el tamaño del borrador para borrar con el borrador o su dedo en el área que ha tocado en la pantalla, o para el tamaño seleccionado en la paleta.

Cuando se ha seleccionado "The area you touch (or cover)"



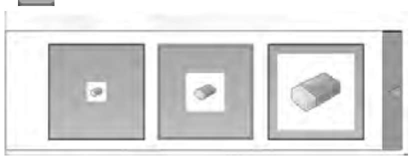
Cuando se ha seleccionado "The selected size in Eraser Palette"



- Con Windows Vista/7, la exhibición cambia de la siguiente manera cuando se selecciona el botón "Eraser" en el modo superposición. La exhibición vuelve a normal cuando se selecciona una función diferente del botón "Eraser".
  - La pantalla es ocultada en el fondo incluso por objetos translúcidos.
  - Un objeto es envuelto por una línea blanca.

■ Cambiando el tamaño del borrador

Se puede cambiar el tamaño del borrador seleccionándolo en la paleta por el botón "Eraser".
Para exhibir la paleta, toque otra vez el botón "Eraser" mientras se encuentra en el estado seleccionado.



CONSEJOS

- Se puede cambiar el método para cerrar la paleta. (Página 20)

Edición de un objeto

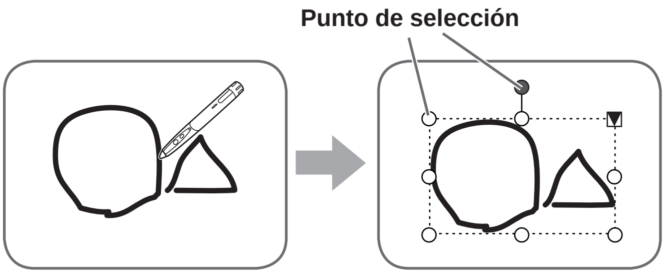
Las líneas dibujadas y las imágenes pegadas en la pizarra serán manipuladas en el software como un “objeto”.

■ Seleccionando un objeto

Deberá seleccionar un objeto antes de editarlo.

1. **Toque el botón “Select”.**
2. **Toque un objeto.**

   Se selecciona el objeto.



Toque un objeto.

Toque un área donde haya algo dibujado. No podrá seleccionar un objeto tocando el área donde no haya nada dibujado.

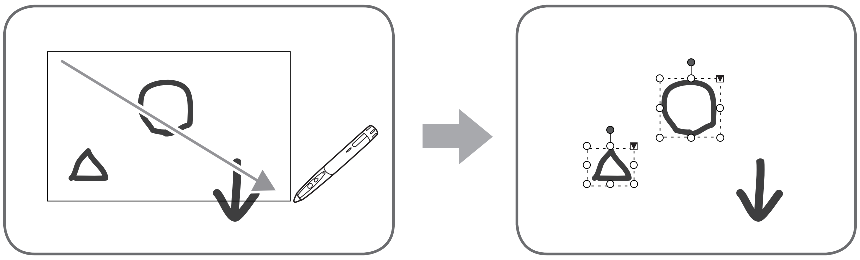
Objeto seleccionado

El área del objeto se indica mediante una línea punteada, y los símbolos llamados puntos de selección aparecen en los vértices y los lados del área.

Cuando selecciona un objeto y luego toque ▼, el menú de expansión aparece para permitirle realizar las siguientes funciones de edición:

- Cut <Cortar>
- Copy <Copiar>
- Paste <Pegar>
- Delete <Borrar>
- Rotate <Rotar>
- Order <Ordenar>
- Cancel selection <Cancelar selección>
- Group <Agrupar>
- Ungroup <Desagrupar>
- Property <Propiedad>

Especificando un área arrastrándola, podrá seleccionar varios objetos dentro del área. (No se seleccionarán los objetos que no estén completamente incluidos en el área.)



■ Agrupando objetos

Podrá editar varios objetos seleccionados como si fueran un objeto.

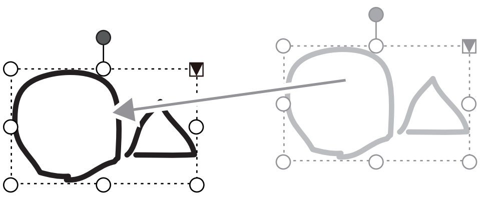
1. **Seleccione los objetos a agrupar.**
2. **Seleccione “Group” en el menú de expansión.**

Cancelando el agrupamiento

1. **Seleccione los objetos agrupados.**
2. **Seleccione “Ungroup” en el menú de expansión.**

■ Moviendo un objeto

Podrá mover un objeto seleccionando el objeto y arrastrándolo.

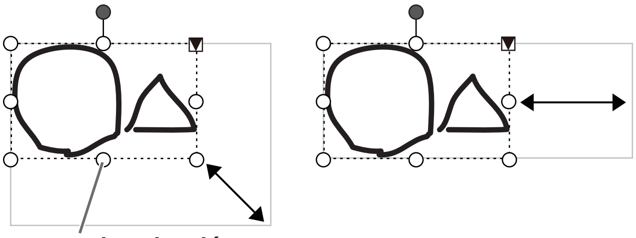


■ Ampliando/reduciendo un objeto

1. Seleccione un objeto.

2. Arrastre el punto de selección.

- Arrastrando el punto de selección en el vértex amplia/ reduce el objeto en la misma relación de aspecto.
- Arrastrando el punto de selección en el vértex agranda/ reduce el objeto en la misma relación de aspecto.
- El ancho de la línea permanece igual después que se agranda/reduce el objeto.

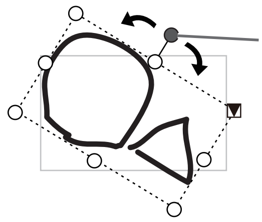


■ Rotando un objeto

1. Seleccione un objeto.

2. Arrastre el punto de selección en la parte superior central.

O, seleccione “Rotate Right”, “Rotate Left” o “Rotate 180 degrees” en “Rotate” del menú de expansión.



■ Copiando un objeto

Puede copiar un objeto al portapapeles.

1. Seleccione un objeto.

2. Seleccione “Copy” en el menú de expansión.

■ Cortando un objeto

Puede cortar un objeto y guardarlo en el portapapeles.

1. Seleccione un objeto.

2. Seleccione “Cut” en el menú de expansión.

■ Pegando un objeto

Para pegar el objeto en el portapapeles, seleccione “Paste” en el menú de expansión.

■ Cambiando el orden de los objetos

Puede cambiar el orden de la ubicación de los objetos.

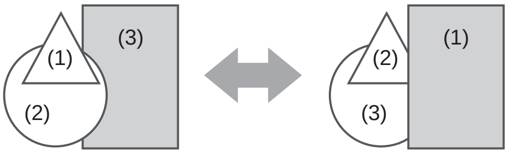
1. Seleccione un objeto.

2. Seleccione la ubicación del objeto en “Order” del menú de expansión.

- Bring to Front : Se mueve el objeto hacia adelante.
- Send to Back : Se mueve el objeto hacia atrás.
- Bring forward : Se mueve el objeto uno hacia adelante.
- Send backward : Se mueve el objeto uno hacia atrás.

Orden de ubicación del objeto

Cuando se superponen varios objetos, los objetos en el fondo están escondidos detrás de los objetos de adelante. Para mostrar la parte escondida, cambie el orden de ubicación de los objetos.



(1) Objeto colocado en frente de otros objetos
(2) Objeto ubicado segundo del objeto delantero
(3) Objeto colocado detrás de otros objetos

Deshacer/rehacer

Tocando el botón “Undo” se cancela el dibujo o la escritura realizada anteriormente.

Tocando el botón “Redo” se repite la operación cancelada con el botón “Undo”.

CONSEJOS

- Se pueden deshacer hasta 50 acciones realizadas.

Borrando un objeto

1. Seleccione un objeto.

2. Seleccione “Delete” en el menú de expansión.

Los objetos seleccionados desaparecen.

Agrandando la vista de la pantalla

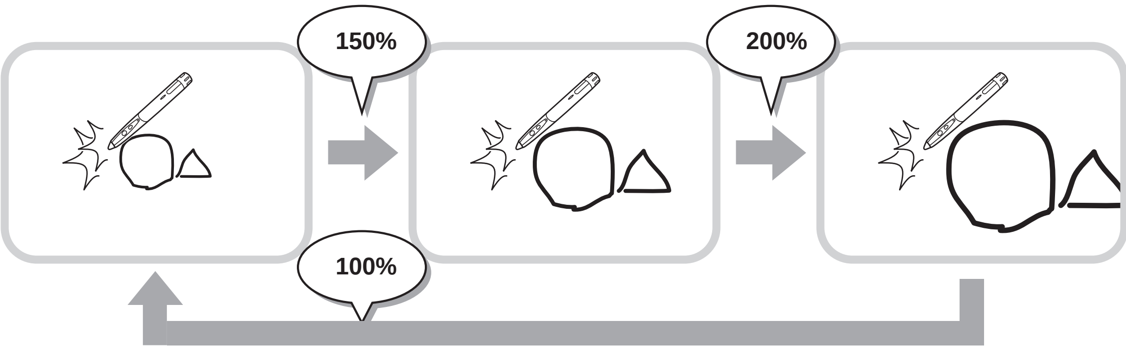
Los pasos para agrandar la vista de la pantalla pueden variar dependiendo del modo.

■ Agrandando la pantalla en el modo de pizarra

Haga doble clic para agrandar la pantalla

1. **Toque el botón  “Pan”.**
2. **Toque rápidamente la parte de la pizarra que desea agrandar dos veces (doble clic).**

   Cada vez que hace doble clic, la vista cambia en el orden 100% > 150% > 200%, centradas en la posición de clic.
   Haciendo doble clic en 200% se vuelve la vista a 100%.

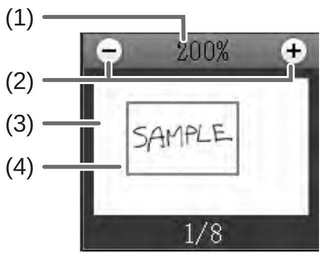


Cambiando la posición de exhibición cuando se agranda la vista.

Para cambiar la posición de exhibición, arrastre en la pantalla con  “Pan” seleccionada.

Agrandando la vista de la pantalla con la ventana de paneo

Aparece una imagen en miniatura de la hoja actual en la ventana de paneo en la barra de herramientas.



(1) Ampliación

Muestra la ampliación de pantalla actual.

(2) [-] [+]

Toque para agrandar o reducir la vista entre 100% y 400% en incrementos de 50%.

(3) Ventana de paneo

Muestra una imagen en miniatura de la hoja actual. Haga doble clic para cambiar la vista en el orden 100% > 150% > 200%, centrado en la posición de doble clic.

(4) Cuadro de exhibición

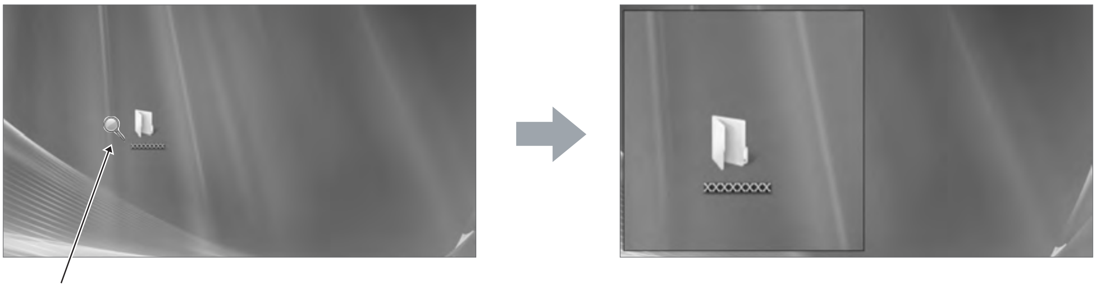
Muestra el área que se exhibe en la pantalla. Para mover el área que se exhibe, arrastre el cuadro de exhibición.

■ Agrandando la pantalla en el modo superposición

Puede agrandar parte de la pantalla y exhibirla.

1. **Toque el botón “Zoom In”.**
2. **Toque la pizarra.**

   El área alrededor del punto tocado se agranda y exhibe.



Toque el punto para agrandar.

El área alrededor del punto se agranda.

Importando un documento como imagen (Controlador de impresora de Pen Software)

Se puede convertir en una imagen a un documento de cualquier aplicación y se puede exhibirlo en la pizarra.
Se importa un documento como una imagen similar a una imagen impresa en una impresora.

■ En el software

1. En el software, abra el documento que quiere importar.

2. Seleccione el comando de impresión y abra la pantalla de ajustes de impresión.

Por detalles, consulte el manual para el software.

3. Cambie la impresora a "Send print data to SHARP Pen Software", y seleccione los ajustes de impresión.

- Se puede seleccionar “Paper Size”, “Orientation”, y “Resolution”.
- Cuando haya terminado de seleccionar los ajustes, toque “Aceptar”.

4. Imprima.

El documento impreso será convertido a una imagen y enviado al Pen Software.

■ En el Pen Software (modo de pizarra)

Cuando se haya enviado la imagen, destellará la indicación “Receive the printed or scanned images”.

5. Toque el botón “Receive the printed or scanned images”.

Aparece la primera hoja de las imágenes adquiridas.

CONSEJOS

- Podría no ser posible convertir correctamente los documentos desde algún software.
- El ajuste “Resolution” del controlador de impresora de Pen Software debe estar normalmente ajustado a 120 dpi. Si se ajusta a un ajuste mayor, las operaciones como agrandando, reduciendo y desplazándose en la hoja podría no realizarse suavemente.

Capturando una imagen de una máquina multifunción

Si se conecta una máquina multifunción de SHARP a la misma red que se ha instalado la computador que tiene el Pen Software, se puede capturar en la pizarra una imagen escaneada en la máquina multifunción.

CONSEJOS

- Soporta el Network Scanner Tool 3.3 o mayor (a agosto de 2010).
- Por detalles, consulte al vendedor o al representante de servicio autorizado más cercano para la máquina multifunción.
- Por los procedimientos para usar la máquina multifunción, consulte el manual para la máquina multifunción.

Usando el Network Scanner Tool para capturar una imagen

La primera vez que use el Network Scanner Tool, instale el Network Scanner Tool en la computadora en que ha instalado el Pen Software y configure los ajustes del Network Scanner Tool. (Página 23)
Para capturar una imagen desde una máquina multifunción, el Network Scanner Tool debe estar funcionando en su computadora. Use JPEG para el formato de envío de escaneo.

■ En la máquina multifunción

1. **Coloque el documento en la máquina multifunción.**
2. **Seleccione un destino de almacenamiento en el Network Scanner Tool.**
3. **Seleccione JPEG para el formato de envío de escaneo.**
4. **Escanee.**
   El documento será escaneado y enviado al Pen Software.

■ En el Pen Software (modo de pizarra)

Cuando se haya enviado la imagen, destellará la indicación  “Receive the printed or scanned images”.

5. **Toque el botón  “Receive the printed or scanned images”.**
   Aparece la primera hoja de las imágenes adquiridas.

Impresión

Para imprimir sólo la hoja que se exhibe actualmente, toque el botón “Print Current Sheet”.
Para imprimir todas las hojas en la pizarra, toque el botón “Print All”. (Sólo modo de pizarra)
Guarde los ajustes de impresión antes.

CONSEJOS

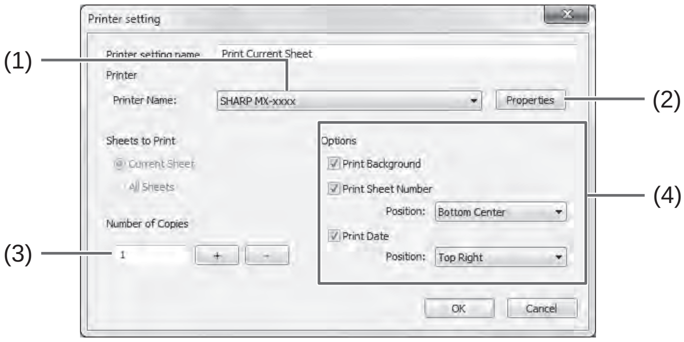
- Las herramientas de operación del software, como las barras de herramientas y las lengüetas no se imprimirán.
- En el modo de pizarra, no se imprimirán las hojas sin datos.

■ Registre los ajustes para impresión

1. En el cuadro de diálogo “Settings” (página 20), toque “Print Current Sheet” o “Print All”.

2. Especifique los ajustes de impresión. (Consulte a continuación.)

3. Cuando haya terminado de realizar los ajustes, toque “OK”.



(1) Printer Name

Seleccione la impresora a usar para imprimir.

(2) Properties

Ajuste los detalles de la impresora. Las opciones de ajuste dependen de la impresora. Para las opciones de ajuste, consulte el manual de instrucciones de la impresora.

(3) Number of Copies

Especifique el número de copias a imprimir.

(4) Options

- Print Background : Seleccione éste para imprimir el color que se ajusta para el fondo de la pizarra. (Sólo en el modo de pizarra)
- Print Sheet Number : Seleccione ésto para imprimir los números de páginas, y seleccione “Position”. (Sólo en el modo de pizarra)
- Print Date : Seleccione ésto para imprimir los datos de impresión, y seleccione “Position”.

CONSEJOS

- No se puede cambiar “Sheets to Print”.

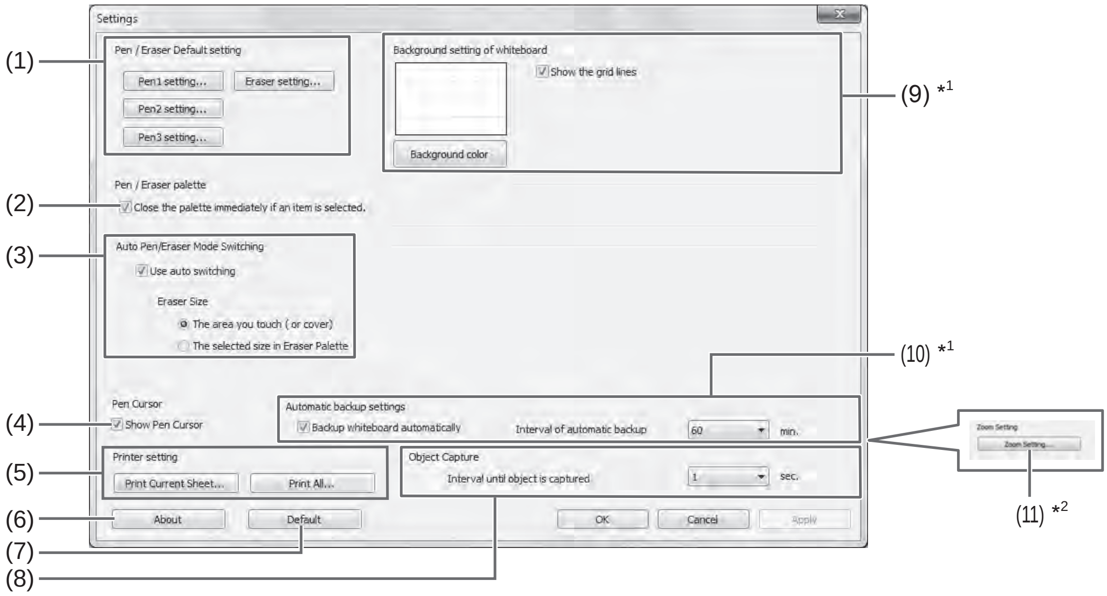
Configurando a medida los ajustes

Puede configurar a medida varios de los ajustes de este software.
Los ajustes son los mismos en el modo de pizarra y el modo superposición. Sin embargo, los contenidos de la pantalla variarán dependiendo del modo activado.

1. Toque el botón "Settings of SHARP Pen Software".

2. Ajuste las opciones tal como es necesario. (Consulte a continuación.)

3. Cuando haya terminado de realizar los ajustes, toque "OK".



*1 Aparece sólo en el modo de pizarra.
*2 Aparece sólo en el modo superposición.

(1) Pen/Eraser Default setting

Ajuste el color inicial y el grosor del "Pen 1" a "Pen 3", y el tamaño inicial de "Eraser".

(2) Pen/Eraser palette

Seleccione ésto para que las paletas "Pen 1" a "Pen 3" y "Eraser" se cierren cuando se selecciona un patrón de la paleta.
Si se elimina la marca de verificación, se debe hacer clic en para cerrar la paleta.

(3) Auto Pen/Eraser Mode Switching

Use auto switching
Para usar esta función, seleccione ésto para que el lápiz se cambie automáticamente a borrador cuando se toca la pantalla con el borrador o su dedo en el modo de lápiz. Ajuste el tamaño del borrador que se aplica en "Eraser Size".

- The area you touch (or cover) : Cuando se usa un borrador u otro objeto y el área de contacto en la pantalla es al menos 4 cm x 4 cm, borre el área de contacto.
- The selected size in Eraser Palette : Borrar con el tamaño del borrador seleccionado sin tener en cuenta la cantidad de contacto en la pantalla.

IMPORTANTE

- Para usar esta función, seleccione "Properties" del controlador del panel sensible al tacto, y configure los ajustes en la lengüeta "OPERATION SETTING" tal como se indica a continuación. Por información respectoal controlador del panel sensible al tacto consulte el Manual de instrucciones del controlador del panel sensible al tacto.
  - Ajuste "Input Mode Setting" a "Standard". Si lo ajusta a algo diferente de "Standard", no se podrá usar la función de cambio automático de lápiz/borrador.
  - Si ha seleccionado "The area you touch (or cover)", ajuste "Detect Eraser Area" a "Enable".

(4) Pen Cursor

Ajuste para mostrar un cursor cuando dibuje con la función de lápiz.

(5) Printer setting

Registre los ajustes para impresión. (Página 19)

(6) About

Se exhibe la información de versión de este software.

(7) Default

Repone los ajustes a los valores iniciales.

(8) Interval until object is captured

Ajuste el período hasta determinar una línea escrita a mano como un objeto.

(9) Background setting of whiteboard

- Preview : Se exhibe la imagen de la pizarra con el ajuste actual.
- Background color : Ajuste el color de fondo de la pizarra.
- Show the grid lines : Seleccione para mostrar la grilla en la pizarra.

(10) Automatic backup settings

Especifique si quiere respaldar los datos automáticamente en el modo de pizarra.
Para usar el respaldo automático, especifique el intervalo.

(11) Zoom Setting

Especifique el tamaño y la ampliación de la exhibición con zoom.

Instalación/Desinstalación del Software

Las operaciones en esta sección requieren acceder como administrador.

Instalación del Pen Software

■ Instalación de .NET Framework 2.0 o mayor

Se debe instalar .NET Framework 2.0 o mayor en la computadora en que se vaya a usar el Pen Software.
Descargue e instale .NET Framework del sitio en Internet de Microsoft.

■ Instalación del Pen Software

1. **Cierre todo el software que esté funcionando.**
2. **Inserte el CD-ROM suministrado en la unidad de CD-ROM de la computadora.**
3. **Haga doble clic en el programa de instalación.**
   - Sistema operativo de 32 bit: \PenSoftware\eng\setup.exe
   - Sistema operativo de 64 bit: \PenSoftware\eng_x64\setup_x64.exe
4. **Para el resto del procedimiento, siga las instrucciones indicadas en la pantalla.**
   - Cuando aparezca la pantalla “Control de cuentas de usuario”, haga clic en “Sí” (o “Permitir”).
   - Cuando aparezca una pantalla de advertencia de seguridad (No ser verificará el editor.), haga clic en “Permitir”.

   Cuando se termina la instalación, se crearán en el escritorio los íconos de acceso directo para el modo de pizarra () y el modo superposición ().
   Se agregará el controlador de impresora de Pen Software. (Página 17)

■ Desinstalación

1. **Cierre todo el software que esté funcionando.**
2. **Haga clic en “Iniciar” y seleccione “Panel de control”.**
3. **Haga clic en “Desinstalar un programa”.**
   - Si usa la vista de ícono (Vista clásica), haga doble clic en “Programas y Características”.
   - En Windows XP, haga clic en “Agregar o quitar programas”. (En la vista clásica, haga doble clic en “Agregar o quitar programas”.)
4. **Seleccione “SHARP Pen Software” y haga clic en “Desinstalar”.**
   En Windows XP, haga clic en “Quitar”.
5. **Para el resto del procedimiento, siga las instrucciones indicadas en la pantalla.**
   Cuando aparezca la pantalla “Control de cuentas de usuario”, haga clic en “Continuar”.

   De esta manera se termina la desinstalación.

Instalación del Network Scanner Tool

El Network Scanner Tool se usa para capturar una imagen de una máquina multifunción de SHARP conectada a la misma red.

■ Instalación del Network Scanner Tool

El Network Scanner Tool no fue incluido en el CD-ROM provisto. Use el Network Scanner Tool (Version 3.3 o mayor) provisto en la máquina multifunción. (Si ya está instalado, no es necesario volver a instalarlo.)
Por detalles acerca de la instalación y uso del Network Scanner Tool, consulte la guía del usuario del Network Scanner Tool.
Por preguntas sobre la compatibilidad de su máquina multifunción o el Network Scanner Tool, consulte a su vendedor o representante de servicio autorizado.

■ Configurarción de los ajustes del Network Scanner Tool

La carpeta que será usada para capturar las imágenes escaneadas desde la máquina multifunción deben ser guardadas como un destino en el directorio de la máquina multifunción. Al crear un perfil, seleccione “Move File to Folder” y ajuste la carpeta (a continuación) para adquirir las imágenes en “Details”.

- Windows Vista/7:
  Unidad de inicio: \ProgramData\SHARP\PenSoftware\JPEG
- Windows XP:
  Unidad de inicio: \Documents and Settings\All Users\Application Data\SHARP\PenSoftware\JPEG

■ Desinstalación

Salir del Network Scanner Tool de la barra de herramientas, abra la pantalla de desinstalación tal como se explica en la página 22, y desinstale “Network Scanner Tool”(o “Sharpdesk”).

SHARP CORPORATION